Nikon

ニコンデジタルカメラ

COOLPIX L1

クールピクスL1

COOLPIX L1 (Jp)

使用説明書

目次

テレビやパソコン、プリンターに接続する 45

いろいろな設定 57

付録 81

はじめに

ニコンデジタルカメラ COOLPIX L1 をお買い上げくださいまして、まことにありがとうございます。

お使いになる前に、この使用説明書をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

このカメラには、この使用説明書のほか、以下の説明書が付属しています。これらの説明書もあわせてよくお読みください。

簡単操作ガイド

撮影の方法と、撮影した画像をパソコンに転送する手順を、簡単に説明しています。

PictureProject（ピクチャープロジェクト） ソフトウェア使用説明書（CD-ROM に収録）

付属のソフトウェア「PictureProject」の使用説明書です。
撮影した画像をパソコンに転送できるほか、パソコン上で画像を調整したり、見やすく整理したりすることができます。

カスタマーサポート

下記アドレスのホームページで、サポート情報をご案内しています。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/index.htm

表記について

- SD メモリーカードを「SD カード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。

この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は次のようになっています。

危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

△ 記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告（カメラについて）

分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電池、電源を抜いて、ニコンサービスセンターに修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。

電池を取る すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。 電池を抜いて、ニコンサービスセンターに修理を依頼してください。
使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと** プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。

⚠ 警告（カメラについて）

 見ないこと	**レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと** 失明や視力障害の原因となります。
 発光禁止	**車の運転者等にむけてフラッシュを発光しないこと** 事故の原因となります。
 発光禁止	**フラッシュを人の目に近づけて発光しないこと** 視力障害の原因となります。 特に乳幼児を撮影する時は 1m 以上離れてください。
 保管注意	**幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
 警告	**指定の電池または専用 AC アダプターを使用すること** 指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。
 使用禁止	**AC アダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠ 注意（カメラについて）

 感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
 保管注意	**製品は、幼児の手の届かない所に置くこと** ケガの原因になることがあります。
 保管注意	**使用しないときは、電源を OFF にしてレンズを遮光し、太陽光のあたらない所に保管すること** 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
 移動注意	**三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと** 転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。
使用注意	**飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従うこと** 本機器が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与えるおそれがあります。 病院で使う際も、病院の指示に従ってください。
禁止 プラグを抜く	**長期間使用しないときは電源（電池や AC アダプター）を外すこと** 電池の液漏れにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。 ACアダプターをご使用の場合には、AC アダプターを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
 発光禁止	**内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと** やけどや発火の原因となることがあります。
 禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。
 放置禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと** 内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
 禁止	**付属の CD-ROM を音楽用 CD プレーヤーで使用しないこと** 機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼす場合があります。

⚠ 危険
（リチウム電池、アルカリ乾電池、オキシライド乾電池について）

 危険	**電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠ 警告
（リチウム電池、アルカリ乾電池、オキシライド乾電池について）

警告	**外装チューブをはがしたり、傷を付けないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
禁止	**電池を火に入れたり、加熱しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
禁止	**新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
分解禁止	**電池をショート、分解しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**電池に表示された警告、注意を守ること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**使用説明書に表示された電池を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
保管注意	**電池は幼児の手の届かない所に置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだ場合はただちに医師にご相談ください。
警告	**電池の「+」と「−」の向きを間違えないようにすること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
禁止	**充電式電池以外は充電しないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
警告	**電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。お住まいの自治体の規則にしたがって廃棄してください。

警告	**電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流すこと** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠ 警告
（アルカリ乾電池、オキシライド乾電池について）

警告	**使い切った電池はすぐにカメラから取り出すこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠ 危険（ニッケル水素電池について）

使用禁止	**リチャージャブルバッテリー EN-MH1-B2 は、COOLPIX 用 Ni-MH 電池 2 本を使用するニコンデジタルカメラ専用の充電式電池です** **この機器以外には使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**専用のチャージャーを使用して 2 本セットで同時に充電すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
禁止	**電池を火に入れたり、加熱しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**電池の「+」と「−」の向きを間違えないようにすること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
分解禁止	**電池をショート、分解しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
禁止	**新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠ 危険（ニッケル水素電池について）

危険	**電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠ 警告（ニッケル水素電池について）

危険	**外装チューブを外したり、傷をつけないこと** **また、外装チューブがはがれたり、傷がついている電池は絶対に使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**電池に表示された警告、注意を守ること** 液もれ、破裂、発火の原因となります。
水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
禁止	**変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
保管注意	**電池は幼児の手の届かないところに置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。
警告	**充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめること** 液もれ、発熱の原因となります。
警告	**電池からもれた液が皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。
警告	**電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコンサービスセンターまたはリサイクル協力店にご持参くださるか、お住まいの自治体の規則にしたがって廃棄してください。
警告	**使用説明書に表示された電池を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠ 注意（ニッケル水素電池について）

注意	**電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

商標説明

- Microsoft® および Windows® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh®、Mac OS®、QuickTime® は米国およびその他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Adobe および Adobe Acrobat は Adobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SD ロゴおよび PictBridge ロゴは商標です。
- D- ライティングは apical アピカル社の技術によるものです。
- 顔認識 AF は Identix®（アイデンティクス社）の技術によるものです。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

お使いになる前に

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（バッテリー、バッテリーチャージャー、AC アダプターなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●保証書とカスタマー登録カードについて

この製品には保証書とカスタマー登録カードが付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入後 1 年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

- カスタマー登録は下記の Web サイトからも行えます。

  https://reg.nikon-image.com

●使用説明書について

- この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、ニコンサービスセンターで新しい使用説明書をお求めください（有料）。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、ラジオやテレビの近くでお使いになると、受信障害を引き起こすことがあります。
使用説明書にしたがって正しくお取り扱いください。

●カメラやメモリーカードを譲渡／廃棄するときのご注意

メモリー (メモリーカード／カメラ内蔵メモリーを含む) 内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には消去されません。譲渡／廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。

メモリーを譲渡／廃棄する際は、市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去するか、初期化後にメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。なお、「オープニング画面」の「撮影した画像」(P.61) も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡／廃棄してください。メモリーを物理的に破壊して廃棄する場合は、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

各部の名称

電源ランプ（P.20）

マイク（P.37、43）

スピーカー（P.43、44）

電源スイッチ（P.20）

内蔵フラッシュ（P.24）

シャッターボタン（P.22）

セルフタイマーランプ（P.26）

ストラップ取り付け部

レンズ（P.21）

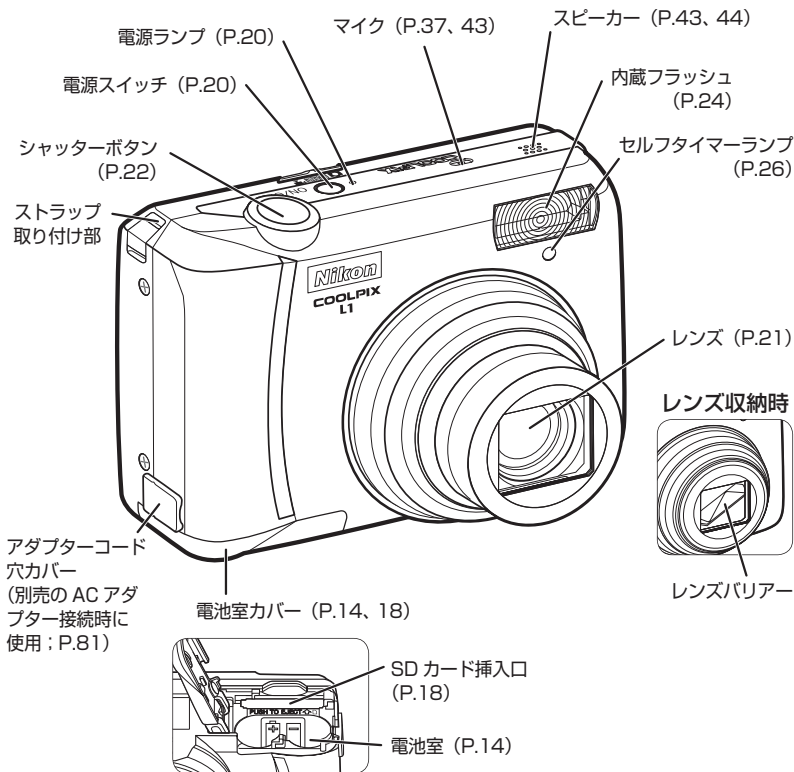
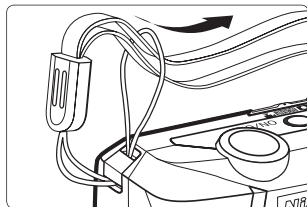
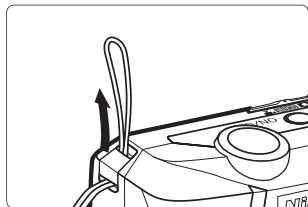
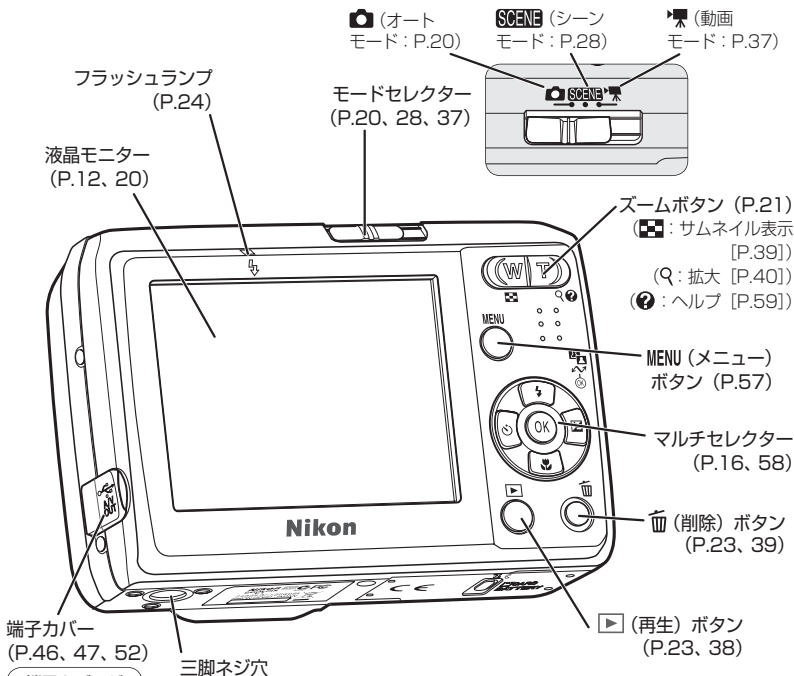
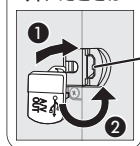
レンズ収納時

レンズバリアー

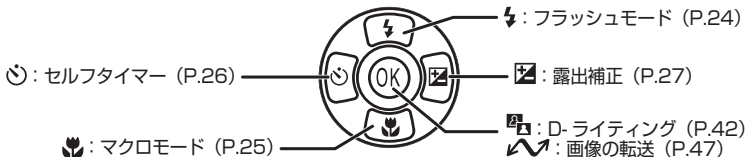
アダプターコード穴カバー（別売の AC アダプター接続時に使用；P.81）

電池室カバー（P.14、18）

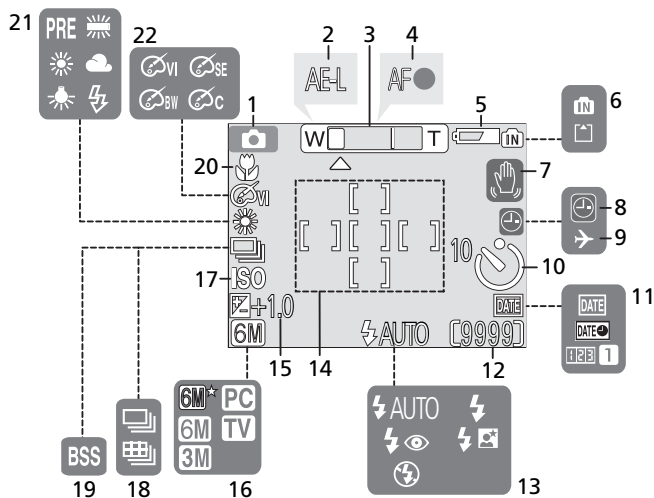
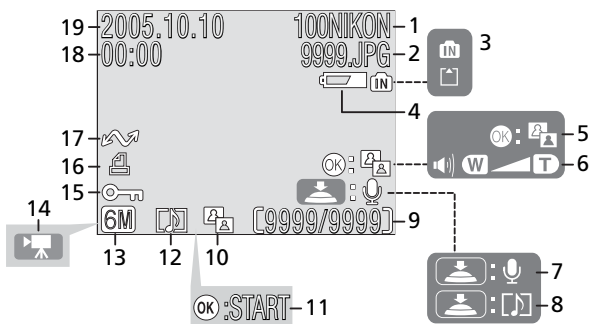
SD カード挿入口（P.18）

電池室（P.14）

ヒント ストラップの取り付け方

ヒント マルチセレクターの使い方

上下左右のボタンで設定する項目や画像などを選び、中央のボタンで決定します。このほか、以下の機能の操作にも使います。

- ：フラッシュモード（P.24）
- ：セルフタイマー（P.26）
- ：露出補正（P.27）
- ：D-ライティング（P.42）
- ：画像の転送（P.47）
- ：マクロモード（P.25）

液晶モニターの表示内容

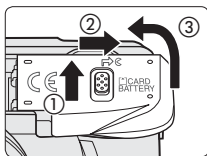
説明のため、すべての表示を点灯させています。

撮影時

再生時

1 撮影モード .... 20、28、37
2 AE-L 表示 36
3 ズーム表示 .... 21、25
4 AF 表示 22
5 バッテリーチェック 20
6 内蔵メモリー／ SD カード表示 18
7 手ブレ警告 23
8 時計マーク 85
9 ワールドタイム 61
10 セルフタイマー 26
11 デート写し込み 63
12 記録可能コマ数（静止画）.......... 20、92
記録可能時間（動画）................. 37、93
13 フラッシュモード 24
14 AF エリア .... 22、74
15 露出補正値 27
16 画像モード 69
17 感度表示 23
18 連写モード 72
19 BSS 73
20 マクロモード 25
21 ホワイトバランス 70
22 ピクチャーカラー 73

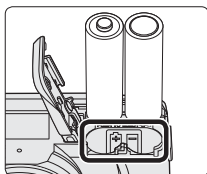
1 フォルダー名 94
2 ファイル名 94
3 内蔵メモリー／ SD カード表示 18
4 バッテリーチェック 20
5 D- ライティングガイド 42
6 音量 .... 43、44
7 音声メモガイド（録音）...................... 43
8 音声メモガイド（再生）...................... 43
9 画像の番号／全画像数
動画の再生時間 44
10 D- ライティング済み表示 42
11 動画再生ガイド 44
12 音声メモ表示 43
13 画像モード 69
14 動画モード 44
15 プロテクト表示 77
16 プリント指定表示 55
17 転送マーク 48
18 撮影時刻 16
19 撮影日 16

撮影の準備

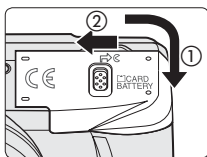
電池を入れる

1

電池室カバーを開ける

- 電池室カバーを開けるときは、電池が落下しないよう、カメラの底面を上に向けてください。

2

電池を入れる

- 電池室内の表示を見ながら、＋と－を正しい向きで入れてください。

3

電池室カバーを閉じる

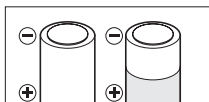
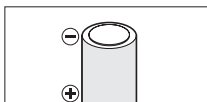
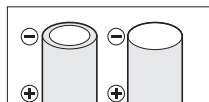
電池を取り出すときは

- **電源スイッチを押して電源を OFF にし**、電源ランプが消灯していることを確認してから、電池を取り出してください。

［重要］付属品以外の電池をお使いになるときは

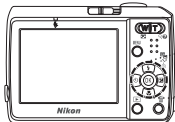
アルカリ乾電池以外の電池をお使いになる場合は、電池の種類に合わせて、セットアップメニューの「**電池設定**」（P.67）を変更してください。電池の種類を正しく設定することで、電池を効率よく使うことができます。

電池についてのご注意

- このカメラにお使いいただける電池は、以下の通りです（いずれも単 3 形）。
  - ・アルカリ乾電池（LR6）（付属の電池）
  - ・リチャージャブルバッテリー EN-MH1-B2（ニッケル水素電池）
  - ・オキシライド乾電池（ZR6）
  - ・リチウム電池（FR6/L91）
- 新しい電池と使いかけの電池を混ぜたり、種類やメーカーの異なる電池を混ぜてお使いにならないでください。信頼できるメーカーの電池をお使いください。
- 「安全上のご注意」の「警告」、「危険」（P.6 ～ 8）や取り扱い上のご注意の注意事項を必ずお守りください。
- 以下のような電池はお使いにならないでください。

外装シールの一部またはすべてがはがれている電池

マイナス電極の一部がふくらんでいて、外装シールが側面にしかない電池

マイナス電極が平らな電池

表示言語と日時を設定する

はじめて電源を ON にすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。以下の手順で設定してください。

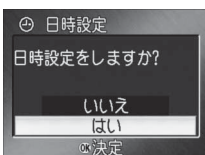
設定するときは、マルチセレクターを使います。以下の説明では、各ステップで操作するボタンを、黒色で示しています。

1

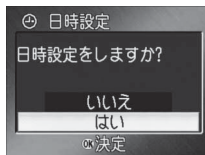
電源を ON にする

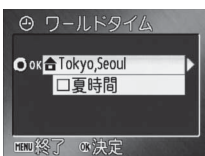
液晶モニターに、上の画面が表示されます。

2

表示言語を選ぶ

3

「**日時設定**」画面に移る

4

「**はい**」を選ぶ

5

「ワールドタイム」画面に移る

夏時間（サマータイム）制が実施されている地域でお使いになる場合は、次ページの「夏時間についてのご注意」をご覧ください。

6

「自宅の設定」画面に移る

7

自宅のある地域を選ぶ

8

「日時設定」画面に移る

9

「**年**」を合わせる

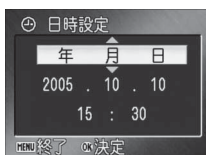
10

「月」の設定に移る

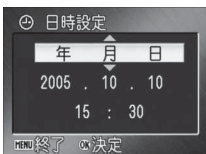
11

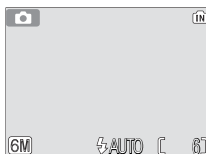
「月」を合わせる

以下、ステップ 10、11 と同様の手順で、分単位まで時刻を合わせてください。

12

「年月日」表示順の設定に移る

「**年月日**」の部分が点滅します。

13

「**年月日**」の表示順を選ぶ

14

設定が有効になる

撮影できます。

夏時間についてのご注意

サマータイム（夏時間）制が実施されている地域でお使いになる場合は、上のステップ 5 の画面でマルチセレクターの下を押して「**夏時間**」を選び、OK を押してください。「**夏時間**」の前にあるチェックボックスがオン ☑ になり、時刻が 1 時間進みます。

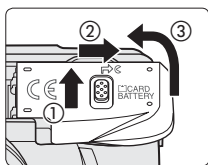
SD メモリーカード（別売）の入れ方

撮影した画像は、カメラの内蔵メモリー（約 10MB）、または市販の SD メモリーカード（P.81）のどちらかに記録することができます。

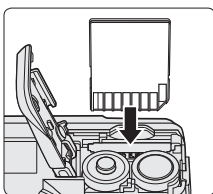
カメラに SD カードを入れると、撮影した画像の記録や再生、削除などの操作は、カード内の画像だけが対象になります。内蔵メモリーを使いたいときは、カードを取り出してください。

SD カードを使うための手順は、以下の通りです。

1.SD カードを入れる

1.1

電源スイッチを押して電源を OFF にしてから、電池室カバーを開ける

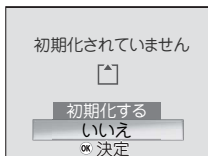
- **SD カードを抜き差しするときは、必ず電源を OFF にしてください**
- 電池室カバーを開けるときは、電池が落下しないよう、カメラの底面を上に向けてください。

1.2

SD カードを入れる

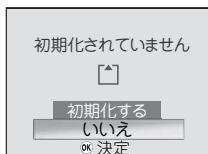
- 左図のように正しい向きで、カチッと音がするまで差し込んでください。
- 挿入後、電池室カバーを閉めてください。

1.3

電源を ON にする

- 画面に記録可能コマ数などが表示された場合は、そのまま撮影できます。
- 左のように表示されたときは、SD カードを初期化する必要があります。次ページの「2.SD カードを初期化する」へお進みください。

2.SD カードを初期化（フォーマット）する

SD カードを初期化すると、カード内のデータはすべて消えてしまいます。 カード内に必要なデータが残っている場合は、初期化する前に、パソコンなどに保存してください。

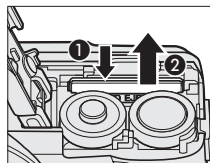
2.1

左の画面が表示されたら、マルチセレクターの上を押して「**初期化する**」を選ぶ

2.2

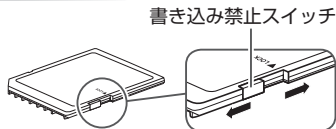
Ⓚ を押す

- 初期化が始まります。**初期化中は、電源を OFF にしたり、電池や SD カードを取り出したりしないでください。**
- 初期化が完了すると、撮影できます。

SD カードを取り出すには

電源を OFF にして、電源ランプが消灯していることを確認してから、電池室カバーを開けてください。カードを奥に押し込むと、カードが押し出されるので、まっすぐ引き抜いて取り出してください。

SD カードの書き込み禁止スイッチについてのご注意

SD カードには、書き込み禁止スイッチが付いています。このスイッチを「Lock」の位置にすると、データの書き込みや消去が禁止され、カード内の画像を保護できます。撮影時や画像を削除するとき、カードを初期化するときは「Lock」を解除してください。

書き込み禁止スイッチ

簡単な撮影と再生

（オート）モードで撮影する—カメラまかせの簡単撮影

モードセレクターを （オート）に合わせると、シャッターボタンを押すだけの簡単な操作で、さまざまな状況での撮影を楽しむことができます。以下のステップ 1 ～ 4 の手順で撮影してください。

ステップ 1. モードセレクターを （オート）に合わせる

1

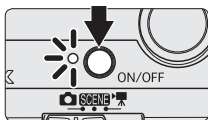
SCENE

モードセレクターを に合わせる

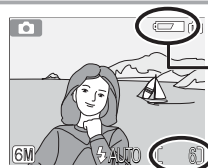
ステップ 2. 電源を ON にする

2.1

ON/OFF

SCENE

電源を ON にする

- 電源ランプと液晶モニターが点灯します。

2.2

記録可能コマ数

電池残量と記録可能コマ数を確認する

バッテリーチェック

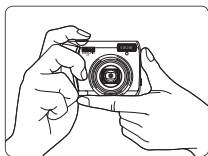
表示なし	電池は充分に残っています。
（電池マーク）	電池が残り少なくなりました。電池交換の準備をしてください。
電池残量がありません	撮影できません。電池を交換してください。

電源を OFF にするには

電源を OFF にするときは、電源スイッチを押してください。電源ランプが消灯していることをご確認ください。

1 枚の SD カードに記録できるコマ数：P.92

ステップ 3. カメラを構える

3.1

カメラをしっかりと構える

- カメラを両手でしっかりと持ってください。レンズやフラッシュ、マイクなどに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。

3.2

構図を決める

- 写したいもの（被写体）を画面の中央付近にとらえてください。

ヒント ズームの使い方

W T を押すと、光学ズームが作動して被写体の大きさを変えることができます。

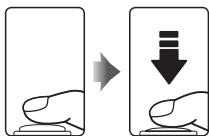
- 広い範囲を写したいときは W を、被写体を大きく写したいときは T を押してください。
- 光学ズームをもっとも望遠側にして、さらに T を約 2 秒以上押し続けると、電子ズームが作動し、光学ズームの最大倍率（約 5 倍）の約 4 倍（合計約 20 倍）まで拡大することができます。ただし、電子ズームは光学ズームとは違い、デジタル処理によって画像を拡大するため、粒子の粗い画像になります。

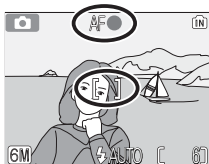
画面上部でズームの量を確認できます。電子ズームが作動すると、黄色に変わります。

ヒント オートパワーオフ機能

電源が ON の状態で、何も操作しないまま約 1 分（初期設定）経過すると、電池の消耗を抑えるため、待機状態に入ります。待機状態では、液晶モニターが消灯し、電源ランプは点滅します。シャッターボタンを半押しすると、電源 ON の状態に戻ります。待機状態のまま何も操作しないでさらに約 3 分経過すると、電源が OFF になります。

ステップ 4. ピントを合わせて撮影する

4.1

シャッターボタンを半押し（下記ヒント参照）する

- AF エリア（P.12 ～ 13）に重なっている被写体のうち、最も手前にある被写体に自動的にピントが合います。
- ピントが合うと、AF 表示が緑色に点灯し、ピントを合わせた AF エリア（[ ]）が表示されます。AF 表示と AF エリアが赤色点滅した場合は、ピントが合っていません。構図を変えてもう一度ピントを合わせてください。

4.2

シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込む

- シャッターがきれ、画像が記録されます。
- 暗い場所などではフラッシュが発光する場合があります。

画像の記録についてのご注意

画面に ⌛ が表示されているときや、IN または ◻ が点滅しているときは、画像の記録中です。SD カードや電池などを取り外さないでください。画像が記録されないことや、撮影した画像やカメラ、SD カードが壊れる場合があります。

ヒント シャッターボタンの半押し

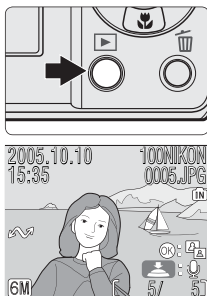
シャッターボタンを軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。半押しするとピントと露出が合い、半押しを続けている間、そのピントと露出で固定されます。そのまま深く押し込むと、シャッターがきれます。シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレ）ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。

半押しすると、ピントと露出が固定　　そのまま深く押し込んで撮影

ヒント **暗い場所で撮影するときは**

暗い場所でフラッシュを使わずに撮影するときなど、シャッタースピードが遅くなるため手ブレしやすい状況では、

- が表示されます。
- 「ISO」と表示されたときは、感度が上がるため、通常よりもざらついた画像になることがあります。
- 撮影した画像が手ブレしている可能性が高いときは、右のような「手ブレお知らせ画面」が表示され、画像を記録するかどうかを選ぶことができます。
- 画像記録時に自動的にノイズ除去が行われる場合があります。この場合、画像の記録時間が、通常の約 2 倍以上になります。

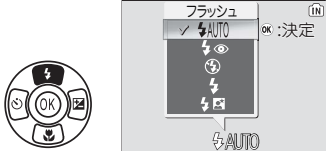
撮影した画像を確認する

▶ を押す

- 撮影した画像が表示されます。
- マルチセレクターの左（または上）で前の画像を、右（または下）で次の画像を見ることができます。ボタンを押し続けると、画像を早送りできます。

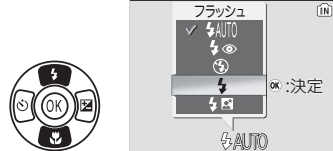
- 前の画像や次の画像に切り換えた直後は、表示が粗くなる場合があります。
- 撮影に戻るには、もう一度 ▶ を押してください。

画像を削除する

画像が表示されているときに 🗑 を押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの上下で「**はい**」を選んで OK を押すと、その画像が削除されます。

- 削除するのをやめたいときは、「**いいえ**」を選んで OK を押してください。

フラッシュの使い方

撮影状況に合わせて、フラッシュの発光モードを、以下の 5 種類から選ぶことができます。フラッシュの光が充分に届く距離は、広角側で約 0.5 ～ 3.5 m、望遠側で約 0.5 ～ 2 m です。📷（オート）モードで設定したフラッシュモードは、電源を OFF にしても記憶されます。

⚡AUTO 自動発光	暗い場所などで、自動的にフラッシュが発光します。
⚡👁 赤目軽減自動発光	人物撮影に適しており、人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減できます。詳しくは次ページの「ヒント」をご参照ください。
発光禁止	フラッシュは発光しません。
⚡ 強制発光	被写体の明るさに関係なく、必ずフラッシュが発光します。逆光で撮影するときなどに使います。
スローシンクロ	夜景などの撮影に適しています。フラッシュでメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景をきれいに写します。

フラッシュモードの設定方法

1

フラッシュモードの設定画面を表示する

2

フラッシュモードを選ぶ

3

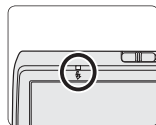
設定が有効になる

- 設定したフラッシュモードが表示されます。
- OK を押さないまま 2 秒以上経過すると、設定はキャンセルされます。

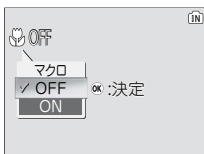
ヒント フラッシュランプについて

シャッターボタン半押し時に、フラッシュの状態を確認できます。

- 点灯：撮影時にフラッシュが発光します
- 点滅：フラッシュの充電中のため、撮影できません。
- 消灯：フラッシュは発光しませんが、撮影できます。

簡単な撮影と再生

マクロ（接写）モードの使い方

最短約 4cm まで被写体に近づいて撮影することができます。ただし、フラッシュ撮影時は、被写体から 50cm 以上離れなければ、フラッシュの光が充分に行き渡らない場合がありますのでご注意ください。

1

マクロモードの設定画面を表示する

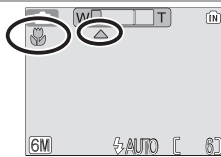
2

「ON」を選ぶ

3

マクロモードが ON になる

- マークが表示されます。
- Ⓞ を押さないまま 2 秒以上経過すると、設定はキャンセルされます。

4

構図を決める

マークが緑色で表示されているとき（ズーム位置が▲より広角側のとき）は、レンズ前約 4cm の被写体にピントを合わせることができます。

5 ピントを合わせて撮影する

ヒント 赤目軽減自動発光について（P.24）

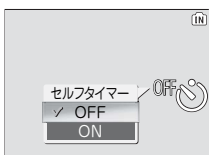
このカメラは「アドバンスト赤目軽減方式」を採用しています。フラッシュが本発光の前に数回小量発光して赤目現象を軽減すると同時に、撮影した画像に赤目の部分がある場合は、カメラが自動的に補正します（この場合、画像の記録時間がやや長くなります）。ただし、

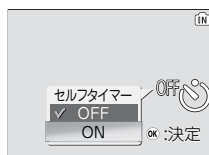
- シャッターチャンスを優先する撮影にはおすすめできません
- 撮影状況によっては、望ましい結果が得られない場合があります
- ごくまれに赤目以外の部分が補正される場合があります

以上のような場合は、他のフラッシュモードで撮影してください。

セルフタイマーの使い方

記念撮影など、自分も一緒に写りたいときは、セルフタイマーが便利です。セルフタイマー撮影時は、三脚などでカメラを固定してください。

1

セルフタイマーの設定画面を表示する

2

「ON」を選ぶ

3

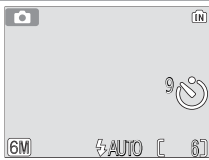
セルフタイマー撮影に入る

- マークが表示されます。
- を押さないまま 2 秒以上経過すると、設定はキャンセルされます。

4

構図を決め、シャッターボタンを半押しする

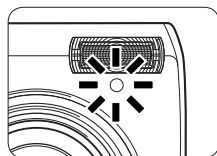
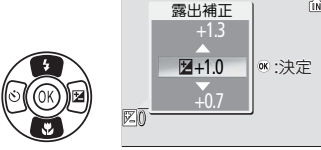
ピントと露出が合います。

5

そのままシャッターボタンを押し込む

セルフタイマーが作動し、約 10 秒後、自動的にシャッターがきれます。

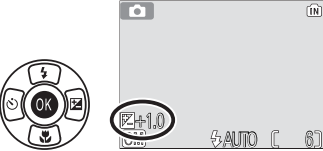
- シャッターがきれるまでの秒数が表示されます。
- セルフタイマーを途中で止めるには、もう一度シャッターボタンを押してください。

セルフタイマーが作動すると、セルフタイマーランプが点滅します。シャッターがきれる約 1 秒前になると、点灯に変わります。

簡単な撮影と再生

露出補正

画像全体を明るくしたいときや暗くしたいときなどに使います。

1

露出補正の設定画面を表示する

2

補正量を選ぶ

＋にすると明るく、－にすると暗くなります。

3

設定が有効になる

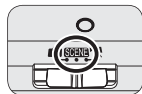
- マークと補正量が表示されます。
- を押さないまま 2 秒以上経過すると、設定はキャンセルされます。

ヒント 設定をいろいろ変更して撮影するには

（オート）モードでは、ここまでに説明した内容に加え、記録する画像のサイズを変更したり、連写やホワイトバランスに関する設定を行うなど、撮影目的や状況に応じて、設定をいろいろと変更して撮影することもできます。詳しくは P.68 以降をご覧ください。

シーンに合わせて撮影する・動画を撮影する

シーンモードについて

撮影シーンが決まっているときは、シーンに合わせて以下の 15 種類からシーンモードを選ぶだけの簡単な操作で、より美しく撮影できます。

アシスト機能付きシーンモード（4 種類）：

画面に構図を決めるためのガイド線が表示されるなど、撮影をお手伝いする「アシスト機能」が充実したモードです。

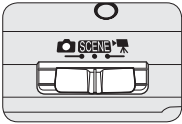
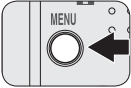
モード	用途
ポートレート	人物の撮影に
風景	風景の撮影に
スポーツ	運動会などのスポーツ写真に
夜景ポートレート	夜景をバックにした人物撮影に

その他のシーンモード（11 種類）：

シーンを選び、シャッターボタンを押すだけで簡単に美しい画像が撮影できるモードです。

パーティー	**夜景**	**モノクロコピー**
海・雪	**クローズアップ**	**逆光**
夕焼け	**ミュージアム**	**パノラマアシスト**
トワイライト	**打ち上げ花火**	

ヒント シーンモードでの画像モード設定

シーンモードのメニューで、マークを選ぶと、画像モード（P.69）を設定できます。

シーンモードの詳しい設定内容（フラッシュモード、マクロモードなど）：P.92

アシスト機能付きシーンモード

アシスト機能付きシーンモードでは、構図を決めるためのガイド線が表示されるなど、さまざまなアシスト機能が撮影のお手伝いをします。

アシスト機能付きシーンモードで撮影するには

1

モードセレクターを SCENE に合わせる

2

シーンモードのメニューを表示する

3

アシスト機能付きシーンモードを選ぶ

4

アシスト機能のメニューを表示する

5

アシスト機能を選ぶ

6

設定が有効になる

7

被写体をガイドに合わせて、撮影する

シーンに合わせて撮影する・動画を撮影する

ポートレート

人物を美しく撮影したいときに使います。人物の肌をなめらかで自然な感じに仕上げます。画像の記録時に、自動的にノイズ除去 (P.23) が行われる場合があります。

顔認識 AF	カメラが人物の顔を自動的に認識してピントを合わせます。詳しくは次ページをご覧ください。
ポートレート	ガイドは表示されず、画面中央にピントが合います。
人物左	人物の上半身をやや左右に寄せて撮影するときに使います。ガイド内にピントが合います。
人物右	
ウエストショット	人物の上半身を撮影するときに使います。ガイド内にピントが合います。
ツーショット	2 人並んだ人物の上半身を撮影するときに使います。ガイド内にピントが合います。
縦位置	人物を縦位置で撮影するときに使います。ガイド内にピントが合います。

風景

自然の風景や街並みなどを、色鮮やかに撮影したいときや、風景をバックにした人物撮影に使います。画像の記録時に、自動的にノイズ除去 (P.23) が行われる場合があります。

風景	ガイドは表示されず、遠景にピントが合います。※
山	遠くの山並みを撮影するときに使います。遠景にピントが合います。※
建物	建物を撮影するときに使います。遠景にピントが合います。※
左背景	背景と人物を左右に配置した構図で撮影するときに使います。ガイド内の人物にピントと露出が合います。
右背景	

※ シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示 (P.22) が点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。

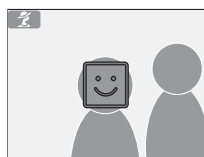
「顔認識 AF」モード（P.30）での撮影方法

1

「顔認識 AF」を選んで ㊍ を押す

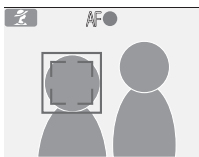
2

☺ マークの大きさを目安に、
人物の顔をとらえる

カメラが顔を認識すると、☺ マークが黄色の二重枠に変わります。※

※ 複数の顔を認識した場合は、最も近くにいる人の顔が二重枠で、他の顔が一重枠で示されます。この場合、二重枠で囲まれた人の顔にピントと露出が合います。途中で被写体が横を向くなどしてカメラが被写体を見失った場合は、枠が消えてステップ 2 の状態に戻ります。

3

シャッターボタンを半押しする

ピントと露出が固定され、二重枠が緑色に変わります。

4

そのままシャッターボタンを押し込む

顔認識 AF モードについてのご注意

- どの人物の顔を認識してピントを合わせるかは、顔の向きなどの撮影条件によって異なります。
- カメラは人物の顔を認識するまでピント合わせを繰り返します。
- 二重枠が黄色点滅している場合は、顔にピントが合っていません。もう一度ピントを合わせてください。
- 顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央にピントが合います。
- 次のような場合、カメラは人物の顔を認識できません。
  - ・顔の一部がサングラスなどでさえぎられている。
  - ・構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている。

スポーツ

運動会などスポーツ写真を撮影するときに使います。動きのある被写体の一瞬の動きを連写（連続撮影）によって鮮明にとらえます。このモードでは、ガイドは表示されません。

モード	説明
スポーツ	シャッターボタンを深く押し込んでいる間、約 0.7 コマ／秒で連写できます。
スポーツ観戦	ズームの広角側で約 1.5m 以上、望遠側で約 20m 以上離れた被写体にピントが合うように、ピントが固定されます。 シャッターボタンを深く押し込んでいる間、「スポーツ」と同様に連写できます。
スポーツマルチ連写	シャッターボタンを 1 回深く押し込むと、約 2 秒間で 16 コマ撮影し、右のような 1 コマの画像（画像サイズ 2816 × 2112）として記録します。

- 「**スポーツ**」、「**スポーツマルチ連写**」のときは、シャッターボタンを押していないときも、カメラは常に画面中央にピントを合わせ続けます。

夜景ポートレート

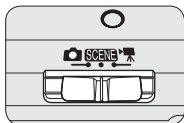
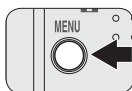
夕景や夜景をバックに人物を撮影するときに使います。人物と背景の両方を美しく表現します。アシスト機能は、「ポートレート」（P.30）と同様（ただし「**顔認識 AF**」はありません）です。このモードで撮影するときは、手ブレを防ぐため、三脚や安定した台などでカメラを固定してください。また、画像の記録時に自動的にノイズ除去（P.23）が行われる場合があります。

その他のシーンモード

その他のシーンモードで撮影するには

1

モードセレクターを SCENE に合わせる

2

シーンモードのメニューを表示する

3

シーンモードを選ぶ

4

設定が有効になる

5

構図を決めて撮影する

シーンモードの種類と特長

パーティー※

パーティー会場などでの撮影に使います。キャンドルライトなどの背景をいかして、雰囲気のある画像に仕上げます。

- 画面中央にピントが合います。
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。

海・雪

晴天の海や砂浜、雪景色などを明るく鮮やかに撮影したいときに使います。

- 画面中央にピントが合います。

※ 画像の記録時に、自動的にノイズ除去（P.23）が行われる場合があります。

夕焼け※

赤い夕焼けや朝焼けの撮影に使います。

- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示 (P.22) が点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。

トワイライト※

夜明け前や日没後のわずかな自然光の中での風景撮影に使います。

- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示 (P.22) が点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- 手ブレしやすいため、カメラを三脚などで固定して撮影することをおすすめします。

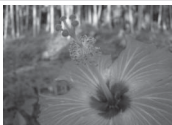
夜景※

夜景の撮影に使います。スローシャッターで夜景の雰囲気を表現します。

- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示 (P.22) が点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- 手ブレしやすいため、カメラを三脚などで固定して撮影することをおすすめします。

クローズアップ※

草花や昆虫、小さな被写体などの接写（近接撮影）に使います。

- シャッターボタンの半押しでピントが固定されるまで、カメラは常に画面中央にピントを合わせ続けます。
- 撮影方法はマクロモード (P.25) と同じです。
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。

ミュージアム

フラッシュ撮影が禁止されている美術館など、フラッシュを発光させたくない場所で撮影するときに使います。

- 画面中央にピントが合います。
- 「BSS」(P.73) が自動的に「ON」になります。
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。

※ 画像の記録時に、自動的にノイズ除去 (P.23) が行われる場合があります。

打ち上げ花火

スローシャッターで、打ち上げ花火をきれいに撮影できます。

- 遠景にピントが固定されます。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示 (P.22) が点灯します。ただし、ピントは遠景に固定されるため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- 手ブレしやすいため、カメラを三脚などで固定して撮影することをおすすめします。

モノクロコピー※

Delivering a wide array of products for the joy of living

ホワイトボードや印刷物などの文字を、シャープに撮影したいときに使います。

- 画面中央にピントが合います。
- 近くのものを撮影するときは、マクロモード (P.25) を併用してください。
- 赤色、青色などの被写体を撮影すると、文字などが薄くなることがあります。

逆光

逆光状態での撮影に使います。内蔵フラッシュが常に発光し、人物が影にならず美しく撮影できます。

- 画面中央にピントが合います。

パノラマアシスト (P.36)

複数の画像を横につなげて、パノラマ写真を合成したいときに使います。このモードで撮影した画像をパソコンに転送すると、PictureProject を使ってパノラマ写真を合成することができます。

※ 画像の記録時に、自動的にノイズ除去 (P.23) が行われる場合があります。

「パノラマアシスト」モード（P.35）での撮影方法

画面中央にピントが合います。三脚をお使いいただくと、構図を合わせやすくなります。

1

（パノラマアシスト）を選んで OK を押す

2

1 コマ目を撮影する

画面左 1/3 に、撮影した画像が表示されます。

3

2 コマ目を撮影する

1 コマ目の絵柄に合うように、構図を合わせてください。

4

3 コマ目以降を撮影する

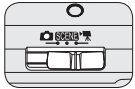
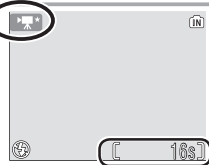
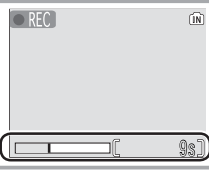
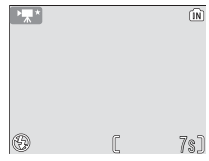
ステップ 3 の手順を繰り返し、必要な画像を撮影してください。

5

必要な画像を撮影し終わったら、OK を押す

ステップ 2 の画面に戻ります。

パノラマアシストモードについてのご注意

フラッシュモード（P.24）、マクロモード（P.25）、セルフタイマー（P.26）、露出補正（P.27）は、撮影開始前に設定してください。撮影開始後に設定を変えることはできません。画像モード（P.69）の変更やズーム操作、画像の削除もできません。

ヒント 「AE-L」について

パノラマアシストモードでは、1 コマ目を撮影すると、画面に**「AE-L」**と表示されます。これは、露出とホワイトバランスがロック（固定）されたことを示しています。これによってパノラマ写真を構成するすべての画像が、同じ露出にそろいます。

動画を撮影する

音声付きの動画を撮影する方法は以下の通りです。動画を記録できる時間は、初期設定（カメラ再生 320 ★）では、内蔵メモリーなら約 16 秒、256MB の SD カードなら約 6 分 30 秒です。

1

モードセレクターを 🎥 に合わせる

記録できる時間が表示されます。

2

撮影を始める

画面下部で、記録できる残り時間の目安を確認できます。

3

撮影を終える

ステップ 1 の画面に戻ります。

撮影する動画のサイズや、ピント合わせの方法など、動画に関する設定を変更したいときは、P.80 をご覧ください。

動画撮影についてのご注意

- 動画モードでは、フラッシュモード（P.24）、セルフタイマー（P.26）、露出補正（P.27）は設定できません。マクロモード（P.25）は「ON」にできます。
- 撮影前は光学ズーム（P.21）しか操作できません。撮影中は光学ズーム、電子ズームとも操作できません。

1 枚の SD カードで動画を記録できる時間：P.93

画像をカメラで再生する

1 コマずつ再生する（1 コマ再生モード）

撮影時に ▶ を押すと、画像が 1 コマずつ再生される「1 コマ再生モード」になります。1 コマ再生モードでは、以下の操作ができます。

次の画像を見る	OK	—
前の画像を見る	OK	—
画像を削除する	🗑	P.39
画像を拡大する	T (🔍)	P.40
サムネイル表示モードに切り換える	W (▦)	P.39
再生メニューを表示する	MENU	P.75
音声メモを録音／再生する	シャッターボタン	P.43
静止画表示時：暗い部分を明るく補正する（D- ライティング）	OK	P.42
動画表示時：動画を再生する		P.44
撮影に戻る	▶	—

ヒント 画像の再生について

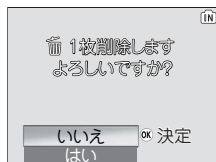
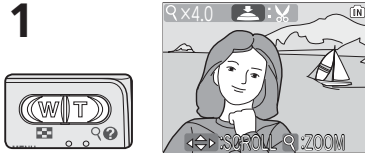
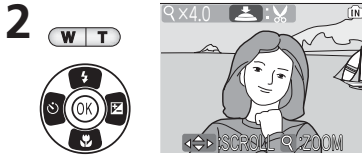
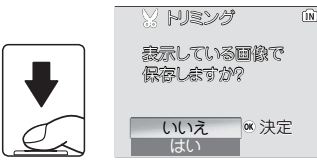
- 電源が OFF のときに ▶ を 2 秒以上押し続けると、1 コマ再生モードで電源を ON にすることができます。
- 内蔵メモリーに記録した画像を再生したいときは、SD カードをカメラから取り出してから、再生してください。

複数の画像を一覧表示する（サムネイル表示モード）

1コマ再生モード（P.38）で W（▦）を押すと、画像を4コマまたは9コマずつ一覧できる「サムネイル表示モード」になります。サムネイル表示モードでは、以下の操作ができます。

画像を選ぶ	⚡ ⏲ OK ☑ ❀	—
表示コマ数を切り換える	W（▦）／ T（Q）	—
選択中の画像を削除する	🗑	—
1コマ再生モードに切り換える	OK	P.38
再生メニューを表示する	MENU	P.75
撮影に戻る	▶	—

画像を削除する

1コマ再生モードとサムネイル表示モードで 🗑 を押すと、右の画面が表示されます。「**はい**」を選んで OK を押すと、表示中または選択中の画像が削除されます。

画像を拡大する

1 コマ再生モード (P.38) で T (Q) を押すと、表示中の画像を最大約 8 倍まで拡大して表示できます。拡大中は、画面に拡大率が表示されます。拡大表示中には、以下の操作ができます。

拡大する	T (Q)	—
縮小する	W (▦)	—
画面をスクロール（移動）させる	マルチセレクター	—
画像を削除する	🗑	P.39
再生メニューを表示する	MENU	P.75
1 コマ再生モードに戻る	OK	P.38
画像の一部を切り抜く（トリミング）	シャッターボタン	P.41
撮影に戻る	▶	—

画像の一部を切り抜く：トリミング

拡大表示（P.40）中に マークが表示されている画像は、トリミング（切り抜き）することができます。

1

画像を拡大表示する

2

切り抜きたい部分が表示されるように、拡大率や表示範囲を調節する

3

確認画面が表示される

4

「はい」を選ぶ

5

トリミング画像が作成される

- トリミング画像は、元画像とは別の画像として保存されます。

トリミング画像のファイル名：P.94
元画像とトリミング画像の関係：P.94

暗い部分を明るく補正する（D- ライティング）

1 コマ再生モード（P.38）で Ⓚ: マークが表示されている画像は、画像の暗い部分だけを明るく補正することができます（D- ライティング）。逆光で撮影したために顔の部分だけが暗くなってしまった画像や、フラッシュの光量不足で背景だけが暗くなってしまった画像などに効果的です。

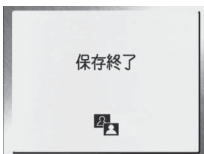
1

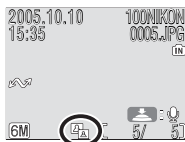
1 コマ再生モード（P.38）で Ⓚ を押す

補正後の見本が表示されます。

2

「実行」を選ぶ

3

補正画像が作成される

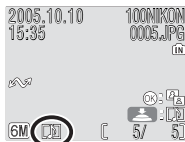
- D- ライティング画像は、元画像とは別の画像として保存されます。
- D- ライティングを行った画像は、再生時の画面で確認できます。

D- ライティング画像のファイル名：P.94
元画像と D- ライティング画像の関係：P.94

画像に音声メモを付ける

1コマ再生モード（P.38）で [▲:🎙] マークが表示されている画像には、カメラのマイク（P.10）を使って、音声によるメモを付けることができます。

音声メモを録音するには

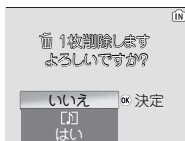
シャッターボタンを深く押し込んでいる間、約 20 秒までの音声メモを録音できます。録音中は、マイクに触れないようにご注意ください。シャッターボタンから指を放すか、約 20 秒経つと、録音が終わります。

音声メモを付けた画像は、再生時の画面で確認できます。

音声メモを再生するには

音声メモ付き画像を表示してシャッターボタンを深く押し込んでください。[W | T] で音量を調節できます。途中で再生をやめるには、もう一度シャッターボタンを深く押し込んでください。

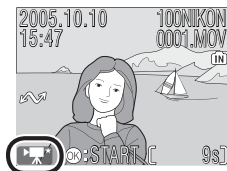
音声メモを削除するには

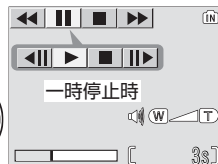
音声メモ付き画像の表示して 🗑 を押すと、右のような画面が表示されます。

- 「**はい**」を選んで Ⓞⓚ を押すと、画像と音声メモが削除されます。
- [♪] を選んで Ⓞⓚ を押すと、音声メモだけが削除されます。

音声メモについてのご注意

- すでに音声メモが録音されている画像には、音声メモを録音できません。この場合、いったん音声メモだけを削除してから、もう一度音声メモを録音してください。
- COOLPIX L1 以外のカメラで撮影した画像に対して、COOLPIX L1 で音声メモを録音することはできません。また、COOLPIX L1 以外のカメラで録音した音声メモを、COOLPIX L1 で再生することはできません。

動画を再生する

1コマ再生モード（P.38）で 📽 マークが表示されている画像は、動画（P.37）です。Ⓞ を押すと、動画が再生されます。

動画の再生中には、W T で音量を調節できます。また、画面上部に表示される操作パネルによって、以下の操作が行えます。マルチセレクターの左右で、ボタンを切り換えてください。

一時停止時

動画再生中

巻き戻し	◀◀	Ⓞ を押している間、巻き戻されます。
早送り	▶▶	Ⓞ を押している間、早送りされます。
一時停止	❚❚	Ⓞ を押すと、一時停止します。 一時停止中には、以下の操作ができます。
	◀❚❚	Ⓞ を押すと、1コマ戻ります。
	❚❚▶	Ⓞ を押すと、1コマ進みます。
	▶	Ⓞ を押すと、再生を再開します。
	■	Ⓞ を押すと、1コマ再生モードに戻ります。
再生終了	■	Ⓞ を押すと、1コマ再生モードに戻ります。

テレビやパソコン、プリンターに接続する

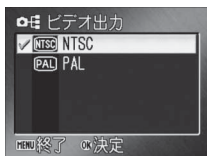
撮影した画像は、カメラで再生するだけでなく、以下のような方法で楽しむことができます。

- テレビで画像を見る・動画をビデオに録画する
- パソコンに転送して整理・加工する
- プリンターでプリント（印刷）する
- プリントサービス店にプリントを依頼する

この章では、テレビに接続する方法（P.46）、パソコンに接続する方法（P.47）、プリンターと接続する方法（P.51）について説明します。カメラをこれらの機器と接続するときは、セットアップメニューの「**インターフェース**」の設定変更が必要な場合があります。セットアップメニューの表示方法や操作方法については、P.57 をご覧ください。

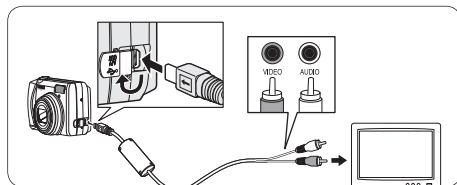
テレビやパソコン、プリンターなどと接続するときは、途中で電池が切れることがないように、別売の AC アダプターキット EH-62B をお使いいただくことをおすすめします。

テレビに接続する

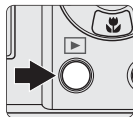
1

お使いのテレビに合わせて（下記ヒント参照）、セットアップメニューの「**インターフェース**」→「**ビデオ出力**」（P.66）を設定する。

- メニューの操作方法については、P.57 をご覧ください。

2 カメラの電源を OFF にして、付属の AV ケーブルを接続する

- AV ケーブルの黄色のプラグをテレビの映像入力端子に、白のプラグを音声入力端子に接続してください。

3 テレビの入力をビデオ入力（外部入力）に切り換える

- 詳しくはお使いのテレビの使用説明書をご覧ください。

4

▶ を 2 秒以上押す

- カメラの電源が ON になり、撮影した画像がテレビに表示されます。
- カメラの液晶モニターは消灯したままです。

ヒント ビデオ出力について

「**ビデオ出力**」メニューの「**NTSC**」と「**PAL**」はいずれも、アナログカラーテレビ放送の規格です。日本では NTSC 方式が、欧州では PAL 方式が主流です。

パソコンに接続する

画像をパソコンに転送して保存するには、付属のソフトウェア「PictureProject」をパソコンにインストールする必要があります。インストールの方法や画像の転送方法については、簡単操作ガイドやPictureProject ソフトウェア使用説明書 CD-ROM（銀色）をご覧ください。

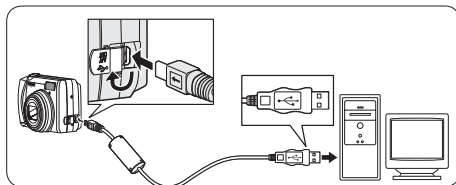
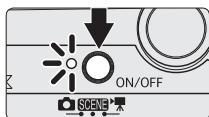
1 PictureProject がインストールされたパソコンを起動する

2

パソコンの OS に合わせて (P.49)、セットアップメニューの「**インターフェース**」→「**USB**」(P.66) を設定する

- メニューの操作方法については、P.57 をご覧ください。

3 カメラの電源を OFF にして、付属の USB ケーブルでカメラとパソコンを接続する

4

カメラの電源を ON にする

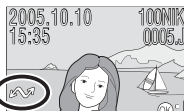
5 ⓞ を押す

- 転送が始まります。転送マーク（下記ヒント参照）が付いている画像が、パソコンに転送され、PictureProject に表示されます。
- カメラには以下のように表示されます。

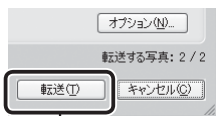
6 転送が終わったら、カメラとパソコンの接続を外す

- 詳しくは P.50 をご覧ください。

ヒント 転送マーク（）について

再生時に マークが付いている画像は、パソコンとの接続時に ⓞ を押すと、パソコンに転送されます。初期設定ではすべての画像に転送マークが付くようになっています。転送マークを付けたり外したりするには、以下の 2 通りの方法があります。

セットアップメニューの「インターフェース」→「転送設定」(P.66)	**これから撮影する画像すべて**を対象に、転送マークを付けるかどうかを設定します。
再生メニューの「転送マーク設定」(P.77)	**撮影済みの画像**を対象に、個別に転送マークを付けたり外したりできます。

ヒント PictureProject の［転送］ボタンで画像を転送する

PictureProject の［転送］ボタンで画像を転送することもできます。ステップ 5 で、ⓞ を押す代わりに、PictureProject の［転送］ボタンを押してください。この場合、転送マークの有無にかかわらず、すべての画像がパソコンに転送されます。

［転送］ボタン

セットアップメニュー「インターフェース」→「USB」の設定について

パソコンの OS に合わせて、セットアップメニューの「**インターフェース**」→「**USB**」(P.66) で、USB 通信方式を以下のように設定してください。初期設定は「**Mass Storage**」です。

パソコンの OS	㊍ で転送するとき	PictureProject の [転送] ボタンで転送するとき
Windows XP Home Edition Windows XP Professional	**PTP** または **Mass Storage**	
Windows 2000 Professional Windows Millennuum Edition (Me) Windows 98 Second Edition (SE)	**Mass Storage**	
Mac OS X（10.1.5 以降）	**PTP**	**PTP** または **Mass Storage**

Windows 2000 Professional、Windows Me、Windows 98 SE をお使いの方へのご注意

USB 通信方式は必ず「**Mass Storage**」にしてください。誤って「**PTP**」にしてパソコンと接続した場合は、以下の要領で接続を外してください。

Windows 2000 Professional の場合：

「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」と表示されるので、「キャンセル（中止）」を選んで画面を閉じてから、パソコンとカメラの接続を外してください。

Windows Me の場合：

「ハードウェア情報データベースの更新」の後に「新しいハードウェアの追加ウィザード」と表示されるので、「キャンセル（中止）」を選んで画面を閉じてから、パソコンとカメラの接続を外してください。

Windows 98 SE の場合：

「新しいハードウェアの追加ウィザード」と表示されるので、「キャンセル（中止）」を選んで画面を閉じてから、パソコンとカメラの接続を外してください。

カメラとパソコンの接続を外すには

- **USB 通信方式が「PTP」の場合：**カメラの電源を OFF にして、USB ケーブルを抜いてください。

- **USB 通信方式が「Mass Storage」の場合：**USB ケーブルを外したり、カメラの電源を OFF にしたりする前に、必ず次の操作を行ってください。

  - Windows XP Home Edition/Windows XP Professional の場合：

    パソコン画面右下の「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックして、「USB 大容量記憶装置デバイス―ドライブ (E:) ※を安全に取り外します」を選んでください。

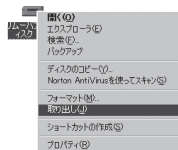
  - Windows 2000 Professional の場合：

    パソコン画面右下の「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」アイコンをクリックして、「USB 大容量記憶装置デバイス―ドライブ (E:) ※を停止します」を選んでください。

  - Windows Me の場合：

    パソコン画面右下の「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックして、「USB ディスク―ドライブ (E:) ※の停止」を選んでください。

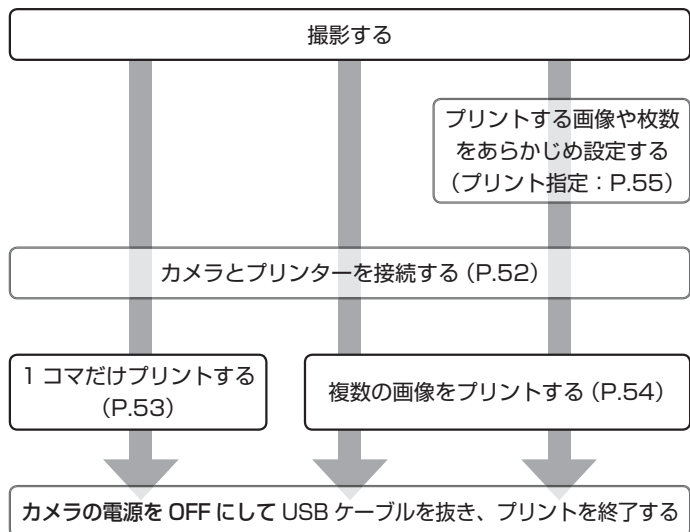
  - Windows 98 SE の場合：

    マイコンピュータの中の「リムーバブルディスク」上でマウスを右クリックして「取り出し」を選んでください。

※ ドライブ (E:) の「E」は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

  - Mac OS X の場合：

    デスクトップ上の「NO NAME」アイコンをゴミ箱に捨ててください。

プリンターに接続する

PictBridge（P.95）対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントすることができます（ダイレクトプリント）。ダイレクトプリントの手順は、以下の通りです。

ヒント 撮影した画像は、このほか以下のような方法でもプリントできます

1.SD カードをプリンターのカードスロットに挿入してプリントする

プリンターの使用説明書をご覧ください。DPOF（P.95）対応プリンターなら、事前に「**プリント指定**」（P.55）を行い、指定通りにプリントすることもできます。

2.SD カードをプリントサービス店に持ち込んでプリントを依頼する

事前に「**プリント指定**」を行った場合は、DPOF 対応のプリントサービス店にお持ち込みください。

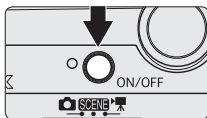
3. 画像をパソコンに転送してからプリントする

パソコンへの転送方法については P.47 をご覧ください。パソコンでのプリント方法はお使いになるソフトウェアやプリンターの使用説明書をご覧ください。

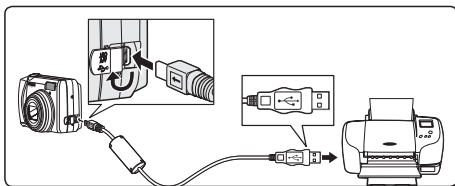
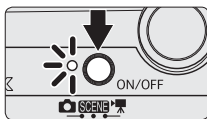
カメラとプリンターを接続する

1 セットアップメニューの「**インターフェース**」→「**USB**」(P.66) を「**PTP**」にする

- メニューの操作方法については、P.57 をご覧ください。

2

カメラの電源を OFF にする

3 プリンターの電源を ON にする

4 付属の USB ケーブルで、カメラとプリンターを接続する

5

カメラの電源を ON にする

- 正しく接続されると、カメラの液晶モニターに①の画面が表示された後、ダイレクトプリントのトップ画面（②）が表示されます。

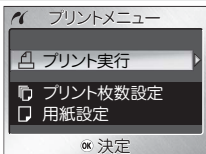
1 コマだけプリントする

あらかじめカメラとプリンターを正しく接続してから (P.52)、以下の手順でプリントしてください。

1

ダイレクトプリントのトップ画面 (P.52) で、プリントしたい画像を選ぶ

W (▦) を押して、6 コマ表示に切り換えて画像を選ぶこともできます。T (Q) を押すと、1 コマ表示に戻ります。

2

「プリントメニュー」画面に移る

3

プリント枚数や用紙サイズを設定し、プリントを実行する

マルチセレクターの上下で各項目を選んでから Ⓚ を押すと、それぞれの画面に移ります。

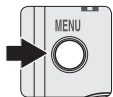
プリント実行	Ⓚ を押すと、プリントが始まります • プリントが終わると、ステップ 1 の画面に戻ります。 • プリントを途中で中止したいときは、Ⓚ を押してください。
プリント枚数設定	マルチセレクターの上下でプリント枚数 (9 枚まで) を設定し、Ⓚ を押してください。
用紙設定	マルチセレクターの上下でプリントする用紙のサイズを選び、Ⓚ を押してください。

用紙設定についてのご注意

用紙設定画面では、「**プリンターの設定**」以外に、「**L**」、「**2L**」、「**ハガキ**」、「**100mm × 150mm**」、「**4 × 6 - in**」、「**8 × 10 - in**」、「**Letter**」、「**A3**」、「**A4**」のうち、プリンターが対応している用紙サイズが表示されます。プリンターの設定を優先したいときは、「**プリンターの設定**」を選んでください。

複数の画像をプリントする

あらかじめカメラとプリンターを正しく接続してから (P.52)、以下の手順でプリントしてください。

1

ダイレクトプリントのトップ画面 (P.52) で、MENU を押す

「PictBridge」画面が表示されます。

2

プリントする画像や用紙サイズ、プリント方法を設定する

マルチセレクターの上下で各項目を選んで ㊊ を押すと、それぞれの画面に移ります。

プリント選択	㊊ を押すとプリントする画像の選択画面に移ります。ステップ 3 にお進みください。
全画像プリント	㊊ を押すとすべての画像がプリントされます。プリントが終わると、ステップ 2 の画面に戻ります。
DPOF プリント	マルチセレクターの上下で「**プリント実行**」を選んで ㊊ を押すと、「**プリント指定**」(P.55) で指定した画像がプリントされます。「**画像の確認**」を選んで ㊊ を押すと、確認画面が表示されます。ステップ 4 にお進みください。
用紙設定	P.53 のステップ 3 と同じです。

3

プリントする画像と、それぞれのプリント枚数 (9 枚まで) を設定する

- プリントされる画像には、凸 マークとプリント枚数が表示されます。枚数を 0 にすると、凸 マークが消え、その画像はプリントされません。
- マルチセレクターの左右で画像を選び、上下でプリント枚数を設定します。詳しい操作方法については P.59 をご覧ください。

4

確認画面が表示される

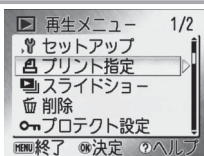
画像を選び直したいときは、**MENU** を押してください。ステップ 3 の画面に戻ります。

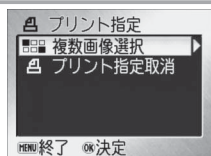
5

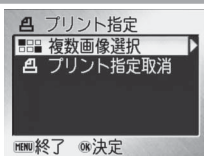
プリントが始まる

- プリントが終わると、ステップ 2 の画面に戻ります。
- プリントを途中で中止したいときは、OK を押してください。

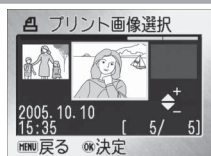
プリントする画像や枚数をあらかじめ設定する（プリント指定）

DPOF（P.95）対応のプリンターやプリントサービス店で画像をプリントするときは、どの画像を何枚プリントするかを、あらかじめ指定することができます。撮影日時や撮影情報（シャッタースピードと絞り値）をプリントすることもできます。

再生メニュー（P.75）で「プリント指定」を選ぶ

2

「プリント指定」画面に移る

3

「複数画像選択」を選ぶ

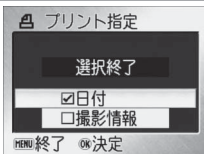
「**プリント指定取消**」を選んで OK を押すと、すべての画像に対するプリント指定が取り消されます。

4

「プリント画像選択」画面に移る

5

プリントする画像と、それぞれのプリント枚数（9 枚まで）を設定する

- プリントされる画像には、凸 マークとプリント枚数が表示されます。枚数を 0 にすると、凸 マークが消え、その画像はプリントされません。
- マルチセレクターの左右で画像を選び、上下でプリント枚数を設定します。詳しい操作方法については P.59 をご覧ください。

6

「プリント指定」画面に移る

- マルチセレクターの上下で「**日付**」を選んで Ⓞ を押すと、撮影日が印字されます。
- 「**撮影情報**」を選んで Ⓞ を押すと、すべての画像に撮影情報が印字されます。
- 「**選択終了**」を選んで Ⓞ を押すと、設定が有効になります。

「**プリント指定**」を行った画像は、再生時の画面で確認できます。

ヒント 日付プリントについて

撮影日時入りの画像をプリントする方法は、2 通りあります。

- 「**プリント指定**」の「**日付**」設定を ON にする
- セットアップメニューの「**デート写し込み**」を有効にする：P.63

	プリント指定	デート写し込み
日付プリントの条件	DPOF 対応プリンターが必要	プリンターの種類に関係なく、常に日付プリントが可能
日付プリントの ON/OFF	プリントのたびに変更可能	日付が画像に直接写し込まれるため、撮影後の変更は不可

「**デート写し込み**」で日付を写し込んだ画像には、「**プリント指定**」による日付プリントはできません。

プリント指定についてのご注意

- プリント指定を行った後、再び「**プリント指定**」メニューを表示すると、「**日付**」と「**撮影情報**」の設定はリセットされますのでご注意ください。
- ダイレクトプリント時には、「**撮影情報**」は印字されません。

メニューの操作方法

カメラの基本設定や撮影、再生、動画に関する設定を行うには、おもにメニューを使います。メニューには、撮影、再生、動画、セットアップ（カメラの基本設定）の 4 種類があります。

メニューを表示するには

（撮影や再生に戻るには、MENU を押してください）

撮影メニュー

モードセレクターを に合わせる

▶

MENU を押す

▶

再生メニュー

1 コマ再生モード（P.38）で画像を再生する

▶

MENU を押す

▶

動画メニュー

モードセレクターを に合わせる

▶

MENU を押す

▶

セットアップメニュー

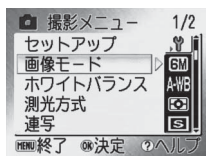
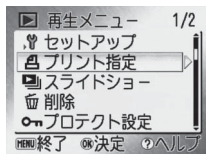
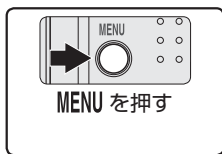
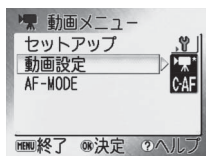
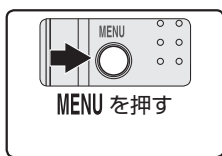
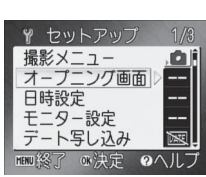
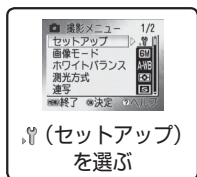
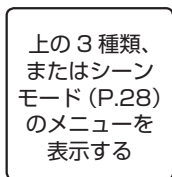
上の 3 種類、またはシーンモード（P.28）のメニューを表示する

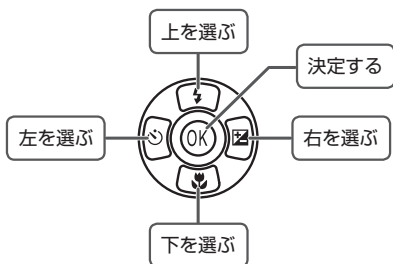
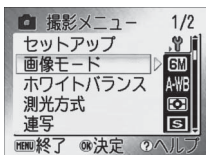
▶

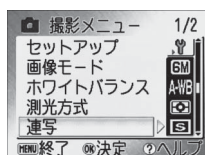
（セットアップ）を選ぶ

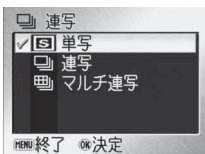
▶

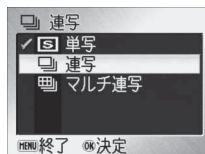
を押す

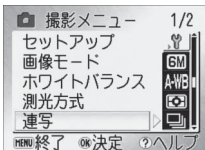
▶

メニュー項目を設定するには

メニューを操作するときは、マルチセレクターを使います。

1

設定したい項目が含まれるメニューを表示する

2

設定したい項目を選ぶ

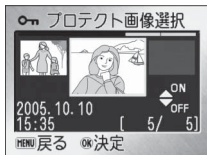
3

項目の設定画面に入る

4

設定内容を選ぶ

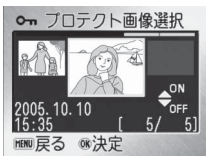
5

設定が有効になる

各メニューの初期設定：P.91

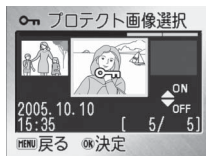
画像選択画面の操作方法

再生メニューの「**プリント指定**」(P.55)、「**削除**」(P.77)、「**プロテクト設定**」(P.77)、「**転送マーク設定**」(P.77)、「**画像コピー**」(P.79) では、設定の対象となる画像を選ぶと、右のような画面が表示されます。この「画像選択画面」の操作方法は以下の通りです。

1

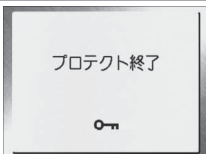
画像を選ぶ

選択中の画像が、中央に大きく表示されます

2

ON/OFF（または枚数）を設定する

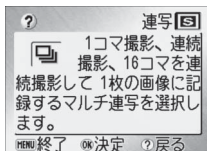
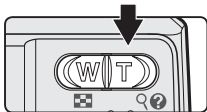
ON にすると、設定内容に応じたマークが表示されます。ほかの画像にも設定したいときは、ステップ 1、2 の手順を繰り返してください。

3

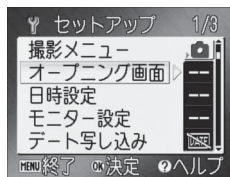
プロテクト終了

設定が有効になる

ヒント ヘルプについて

メニュー項目の選択画面（前ページのステップ2の画面）が表示されているときに T (?) を押すと、選択中のメニュー項目に関するヘルプ（簡単な説明）が表示されます。

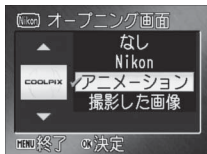
- OK を押すと、そのメニュー項目の設定画面に移ります。
- 元の画面に戻るには、もう一度 T (?) を押してください。
- MENU を押すと、撮影（または再生）に戻ります。

いろいろな設定

カメラの基本設定―セットアップメニュー

セットアップメニューには、以下の項目があります。

オープニング画面	電源を ON にしたときに表示される「オープニング画面」について設定します。	P.61
日時設定	内蔵時計を合わせます。	P.61
モニター設定	画面の表示内容や明るさを設定します。	P.62
デート写し込み	画像に撮影日時を写し込む設定を行います。	P.63
操作音	操作音について設定します。	P.65
手ブレお知らせ	手ブレお知らせ画面の表示について設定します。	P.65
オートパワーオフ	待機状態に入るまでの時間を設定します。	P.65
メモリーの初期化／カードの初期化	内蔵メモリー／ SD カードを初期化します。	P.66
言語／ LANGUAGE	画面に表示される言語を設定します。	P.66
インターフェース	パソコンやテレビとの接続に必要な設定を行います。	P.66
設定クリアー	各種設定を初期状態に戻します。	P.67
電池設定	使用する電池の種類を設定します。	P.67
メニュー切り換え	メニューの表示形式を切り換えます。	P.67
Ver. バージョン情報	ファームウェアの情報を表示します。	P.67

セットアップメニューの初期設定：P.91

オープニング画面

電源 ON 時の「オープニング画面」の設定を行います。「**撮影した画像**」を選ぶと、内蔵メモリーまたは SD カード内の画像を、オープニング画面として登録できます。登録した画像はカメラに記憶されるため、その画像を削除したり SD カードを入れかえたりしても、オープニング画面は変わりません。

日時設定

内蔵時計についての設定を行います。海外旅行などに便利なワールドタイム（時差を自動的に計算する）機能を使うこともできます。

日時	内蔵時計の日付と時刻を設定します。設定方法については P.16 をご覧ください。
ワールドタイム	海外旅行などに便利な機能です。訪問先のタイムゾーン（地域）を登録すると、自宅からの時差（P.95）を自動的に計算し、現地時間で撮影時刻を記録することができます。

時差のある地域で使うには

1

✈（訪問先）マークを選ぶ

2

「訪問先」の現地時間が有効になる

撮影時の画面に ✈ マークが表示されます。訪問先のタイムゾーンを変更したいときは、マルチセレクターの右を押し、P.17 と同様の手順でタイムゾーン、夏時間の設定を行ってください。

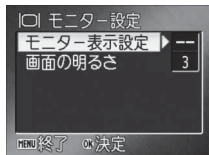
• 自宅のタイムゾーンに戻すには、ステップ 1 で ⌂（自宅）マークを選んでください。

✔ 日時設定についてのご注意

カメラの内蔵時計は、カメラに入れる電池とは別の時計用電池で動いています。カメラに電池を入れるか AC アダプターを接続すると、時計用電池が充電されます。充電には約 10 時間かかり、数日間、設定した日時を記憶することができます。

モニター設定

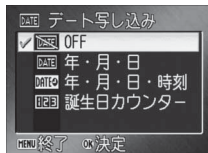
画面の表示内容や明るさを設定します。

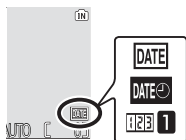
モニター表示設定	撮影・再生時の画面に表示される情報について設定します。
画面の明るさ	画面の明るさを 5 段階で調節できます。

「モニター表示設定」について

画面に表示される情報に関する設定を行います。表示の内容については、P.12 をご覧ください。

	撮影時	再生時
情報 ON		
情報 AUTO	「**情報 ON**」と同じ表示が 5 秒間続いた後、「**情報 OFF**」に切り替わります	
情報 OFF		
方眼＋情報 AUTO	• モードでは、「**情報 AUTO**」と同様の表示内容に加えて、構図を決める際の参考となる格子線が表示されます • SCENE、 モードでの表示内容は、「**情報 ON**」と同じです。	「**情報 ON**」と同じです

デート写し込み DATE

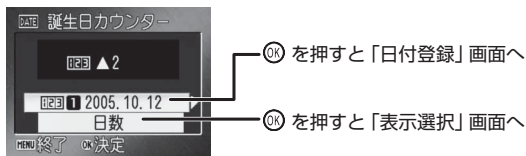
DPOF（P.95）に対応していないプリンターで日付入り画像をプリントしたいときなどに、便利な機能です。

年・月・日	左の形式で、撮影した画像の右下に、直接日時が写し込まれます。
年・月・日・時刻	
誕生日カウンター	子供の成長記録や植物の観察日記などに便利な機能です。詳しくは 64 ページをご覧ください。

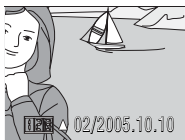
「デート写し込み」の設定状況は、撮影時の画面で確認できます。

デート写し込みについてのご注意

- 一度写し込まれた日時を画像から消したり、撮影した後で日時を写し込むことはできません。
- 「**画像モード**」（P.69）が「**TV（640）**」の画像にデート写し込みを行うと、写し込んだ日付が読みづらい場合があります。画像モードは「**パソコン（1024）**」以上に設定してください。
- 年月日の並びは、セットアップメニューの「**日時設定**」（P.61）での設定と同じになります。

「**デート写し込み**」と「**プリント指定**」の違い：P.56

誕生日カウンターの使い方

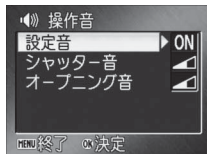
特定の日付からの日数を画像に入れることができます。誕生日や結婚式などのイベントまでの日数をカウントダウン形式で入れたり、子供が産まれた日からの経過日数を入れるなど、さまざまな用途にお役立てください。

日付登録	1 ～3のいずれかを選んでマルチセレクターの右を押すと、日付設定画面が表示されます。P.16 と同様の手順で日付を設定後、OK を押してください。日付は 3 種類まで登録できます。他の日付に切り換えるには、1 ～3のいずれかを選んで、OK を押してください。	DATE 日付登録 / OK 1 2005. 10. 12 / 2 ----. --. -- / 3 ----. --. -- / MENU 終了 OK 決定
表示選択	日付の表示形式を選び、OK を押してください。	DATE 表示選択 / 日数 / 年・日 / 年・月・日 / MENU 終了 OK 決定

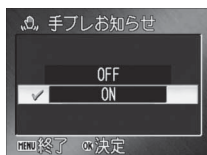
誕生日カウンターを使って撮影した画像には、以下のように日付が写し込まれます。

記念日まであと 2 日の場合

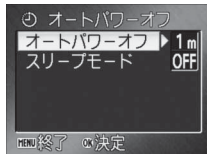
記念日から 2 日後の場合

操作音

操作音について設定します。

設定音	設定音（電子音 1 回：設定完了時など）や警告音（電子音 3 回：禁止動作を行ったときなど）の ON/OFF を設定します。
シャッター音	シャッターをきったときの音量を、「**大**」、「**標準**」、「**OFF**」から選べます。
オープニング音	起動時のオープニング音の音量を「**大**」、「**標準**」、「**OFF**」から選べます。

手ブレお知らせ

画像の撮影後に、「手ブレお知らせ画面 (P.23)」を表示するかどうかを選べます。ここでの設定にかかわらず、手ブレお知らせ画面が表示されない場合があります (P.89)。

オートパワーオフ

電源を ON にしたまま何も操作しないで一定時間が過ぎると、バッテリーの消耗を抑えるために液晶モニターが消灯し、待機状態 (P.21) に入ります。ここでは、待機状態に入るまでの時間を設定できます。待機状態に入ってから、何も操作しないでさらに約 3 分経過すると、電源が OFF になります。

オートパワーオフ	無操作時に、待機状態に入るまでの時間を「**30 秒**」、「**1 分**」、「**5 分**」、「**30 分**」から選べます。
スリープモード	「**ON**」にすると、被写体の明るさに変化がない状態が続くと、「**オートパワーオフ**」で設定した時間を待たずに、待機状態に入ります。「**オートパワーオフ**」が「**1 分**」以下のときは 30 秒、「**5 分**」以上のときは 1 分で待機状態に入ります。

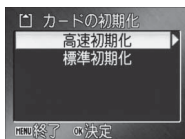
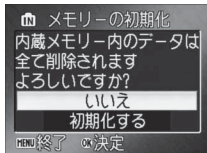
オートパワーオフについてのご注意

以下の場合は、待機状態に入るまでの時間が決まっています。

- 「**オートパワーオフ**」の設定が「**1 分**」以下で、メニューが表示されている場合：3 分
- スライドショーの再生中、または別売の AC アダプターキットを接続した場合：30 分

メモリー／カードの初期化

内蔵メモリーまたはSDカードを初期化（フォーマット）します。初期化すると、メモリー内またはカード内のデータはすべて消えてしまうので、必要なデータは事前にパソコンなどに転送してください。

- 内蔵メモリー使用時は「**メモリーの初期化**」メニューが、SDカード使用時は「**カードの初期化**」メニューが表示されます。「カードの初期化」メニューでは、「**高速初期化**」（データが記録されている領域だけ初期化する）か「**標準初期化**」（カード全体を初期化する）を選んでください。

初期化についてのご注意

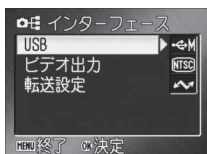
- 初期化中は、電源をOFFにしたり、電池やSDカードを取り出したりしないでください。
- 新品のSDカードをお使いになるときは、必ずカメラで「**標準初期化**」を行ってください。
- SDカードは、撮影と削除を繰り返すと処理能力が落ちてくるため、定期的にカメラで「**標準初期化**」を行うことをおすすめします。
- 電池残量が少ないときは、「**標準初期化**」はできません。

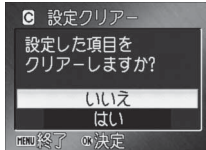
言語/LANGUAGE

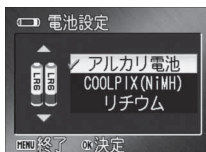
画面に表示される言語を、右の12種類から選べます。

インターフェース

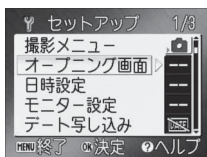
パソコンやテレビとの接続に必要な設定を行います。

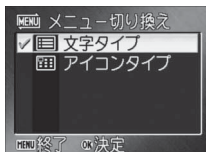
USB	パソコンやプリンターとの通信方式を「Mass Storage」と「PTP」から選べます。詳しくはP.49（パソコンとの接続時）、P.52（プリンターとの接続時）をご覧ください。
ビデオ出力	ビデオの出力方式を「NTSC」と「PAL」から選べます。詳しくはP.46をご覧ください。
転送設定	「ON」にすると、設定後に撮影するすべての画像に転送マーク（P.48）が付きます。

設定クリアー

「**はい**」を選ぶと、カメラの各種設定が初期状態にリセットされます。初期設定については、P.91 をご覧ください。

電池設定

バッテリーチェック（P.20）を正しく機能させるために、使用する電池の種類に合わせて設定してください。

	対応する電池
アルカリ電池	アルカリ乾電池
COOLPIX（NiMH）	リチャージャブルバッテリー EN-MH1-B2、オキシライド乾電池
リチウム	リチウム電池

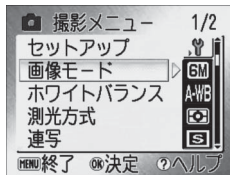
メニュー切り換え

メニューの表示スタイルを選べます。

文字タイプ

アイコンタイプ

バージョン情報

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

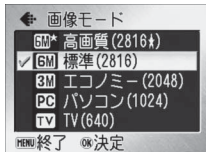
撮影に関する設定―撮影メニュー

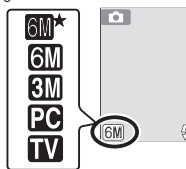
メニューの表示方法や操作方法については、P.57をご覧ください。ここで設定する内容は「**画像モード**」を除き、 モードで撮影するときだけ有効になります。

セットアップ	セットアップメニューを表示します。	P.60
画像モード	記録時の画像モード（画像の大きさと圧縮率の組み合わせ）を設定します。	P.69
WB ホワイトバランス※	画像が見た目に近い色で記録されるように、光源に合わせてホワイトバランスを設定します。	P.70
測光方式	カメラが被写体の明るさを測る方式を設定します。	P.72
連写※	連写（連続撮影）するかどうかを設定します。	P.72
BSS BSS※	ベストショットセレクター（最大 10 コマを連写し、最も鮮明な 1 コマをカメラが自動的に選んで記録する機能）について設定します。	P.73
ピクチャーカラー※	記録する画像の色調について設定します。	P.73
AF エリア選択	画面のどの位置でピントが合うかを設定します。	P.74
AF-MODE	カメラがいつピント合わせを行うかを設定します。	P.74

※ これらの機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。詳しくはP.93をご覧ください。

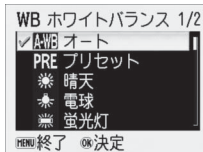
撮影メニューの初期設定：P.91

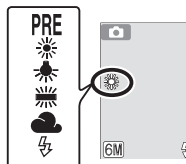
画像モード

画像モード（画像の大きさと圧縮率の組み合わせ）を設定します。画像の用途や内蔵メモリー／SD カードの残量に合わせて設定してください。以下の表で上にある画像モードほど、より精細な画像を大きくプリントすることができますが、ファイルサイズが大きくなるため、記録できるコマ数は少なくなります。

画像モード	画像の大きさ（ピクセル）	内　容
6M★ **高画質（2816★）**	2816×2112	「**標準**」よりも精細な画像になります。圧縮率は約 1/4 です。
6M **標準（2816）**（初期設定）	2816×2112	ファイルサイズと画質のバランスが良く、一般的な撮影に適した画像モードです。圧縮率は約 1/8 です。
3M **エコノミー（2048）**	2048×1536	「**標準**」よりも画像サイズが小さいため、より多く撮影できます。圧縮率は約 1/8 です。
PC **パソコン（1024）**	1024×768	パソコンのモニターに表示するときに適しています。圧縮率は約 1/8 です。
TV **TV（640）**	640×480	電子メールへの添付や、テレビへの表示に適しています。圧縮率は約 1/8 です。

画像モードの設定状況は、撮影時の画面で確認できます。

1 枚の SD カードに記録できるコマ数：P.92

ホワイトバランス　WB

光源に合わせて、画像が見た目に近い色で撮影されるようにすることを「ホワイトバランスを合わせる」といいます。初期設定の「**オート**」でほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にならないときは、天候や光源に合わせてホワイトバランスを変更してください。

A-WB　オート	カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。ほとんどの場合、この設定のままで撮影できます。
PRE　プリセット	特殊な照明の下などでの撮影に適しています。詳しくは次ページをご覧ください。
晴天	晴天の屋外での撮影に適しています。
電球	白熱電球の下での撮影に適しています。
蛍光灯	白色蛍光灯の下での撮影に適しています。
曇天	曇り空の屋外での撮影に適しています。
フラッシュ	フラッシュを使って撮影する場合に適しています。

ホワイトバランスの設定状況は、撮影時の画面で確認できます（「**オート**」のときは、何も表示されません）。

PRE *プリセットホワイトバランス*

特殊な照明の下で撮影するときなど、「**オート**」や「**電球**」などの設定では望ましい結果が得られない場合は、事前に取得（プリセット）したホワイトバランスを使うことができます。

1 撮影時に使う照明と、白またはグレーの被写体を用意する

2

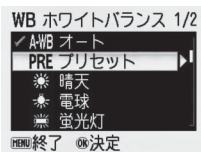
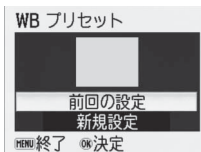
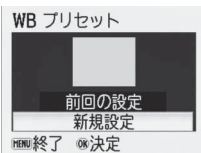
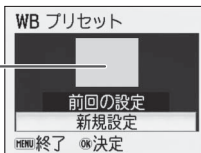
「プリセット」を選ぶ

3

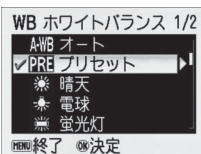
レンズが望遠側にズーミングする

4

「**新規設定**」を選ぶ※

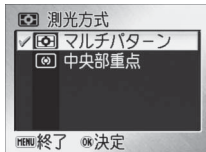
5

用意した白またはグレーの被写体を測定窓に写す

※ 前回プリセットしたホワイトバランスを使いたいときは、「**前回の設定**」を選んで OK を押してください。ホワイトバランスが前回取得したプリセットデータに変更されます。

6

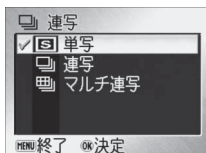
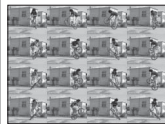
プリセットデータが取得され、ホワイトバランスが変更される

プリセットホワイトバランスについてのご注意

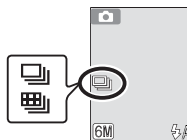
プリセットデータ取得時には、フラッシュは発光しません。このため、フラッシュ撮影時のホワイトバランスを測定することはできません。

測光方式

適正な露出を得るために、カメラが被写体の明るさを測ることを「測光」といいます。測光方式は以下の2 種類から選べます。

マルチパターン	ほとんどの撮影状況に対応できる測光方式です。画面中央を中心とした広い領域を測光して、被写体の明るさの分布などを分析するため、見た目に近い画像が得られます。
中央部重点	画面の中央部分を重点的に測光します。画面中央にメインの被写体を大きく配置して撮影する場合などに適しています。

連写

連写（連続撮影）するための設定です。連写中のピントと露出、ホワイトバランスは、最初の 1 コマと同じ条件に固定されます。

単写	1 コマずつ撮影します。	
連写	シャッターボタンを深く押し込んでいる間、最速約 0.7 コマ／秒で連写できます。	
マルチ連写	シャッターボタンを 1 回深く押し込むと、約 3 コマ／秒で、右のような 16 コマの連続写真を撮影します。撮影した画像は、画像モード「**6M 標準 (2816)**」で記録されます。	

連写モードの設定状況は、撮影時の画面で確認できます（「**単写**」のときは、何も表示されません）。

いろいろな設定—撮影メニュー

BSS　BSS

手ブレしやすい状況（暗い場所でフラッシュを使わずに撮影するときや、望遠側で撮影するときなど）での撮影に便利なBSS（ベストショットセレクター）機能について設定します。

「**ON**」にすると、シャッターボタンを深く押し込んでいる間、連写を続け（最大10コマ）、撮影した画像の中から最も鮮明に撮れている1コマをカメラが自動的に選んで記録します。

「**ON**」のときは、撮影時の画面に **BSS** マークが表示されます。

BSSについてのご注意

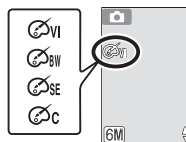
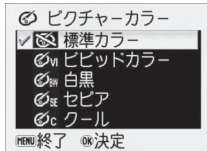
BSSは静止している被写体の撮影に効果的ですが、動いている被写体の撮影や、構図を変えながらの撮影では、望ましい結果が得られない場合があります。

ピクチャーカラー

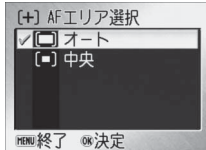
記録する画像の色調を変えます。

標準カラー	自然な色調になります。
VI **ビビッドカラー**	はっきりした色調になります。
BW **白黒**	モノクロになります。
SE **セピア**	セピア色になります。
C **クール**	ブルー系のモノトーンになります。

ピクチャーカラーの設定状況は、撮影時の画面で確認できます（「**標準カラー**」のときは、何も表示されません）。また設定に応じて、画面の色調も変わります。

いろいろな設定―撮影メニュー

AF エリア選択

画面のどの位置でピントが合うかを設定します。

オート	5 つある AF エリア (P.12 ～ 13) のうち、最も手前の被写体をとらえている AF エリアにピントが合います。
中央	画面中央の被写体にピントが合います。

AF-MODE

カメラがいつピント合わせを行うかを設定します。

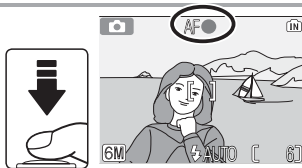
S-AF シングル AF	シャッターボタンを半押ししたときだけ、ピントを合わせます。
C-AF 常時 AF	シャッターボタンを押していないときも、常にピント合わせを繰り返します。

ヒント フォーカスロック撮影

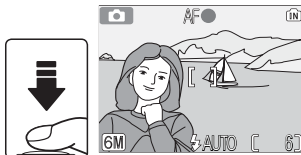
構図を工夫して撮影したいときや、ピントが合いにくいときは、以下のようにピントを固定（フォーカスロック）して撮影してください。フォーカスロック撮影を行うときは、「**AF エリア選択**」を「**中央**」、「**AF-MODE**」を「**シングル AF**」にしてください。

1

ピントを合わせたい被写体を画面中央に配置する

2

シャッターボタンを半押しする

ピントが合い、AF 表示が点灯します。

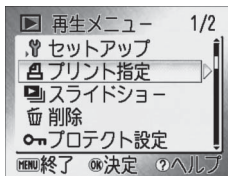
3

半押ししたまま構図を変える

被写体との距離は変えないでください。

4

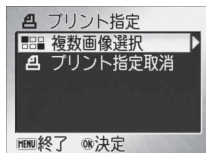
そのまま深く押し込んで撮影する

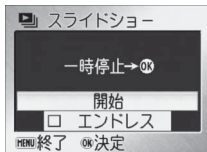
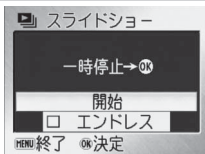
再生に関する設定—再生メニュー

メニューの表示方法や操作方法については、P.57をご覧ください。

セットアップ	セットアップメニューを表示します。	P.60
プリント指定	プリンターでプリントする画像や、その枚数などを設定します。	P.55
スライドショー	内蔵メモリー／SD カード内の画像を、1 コマずつ順番に自動再生します。	P.76
削除	画像を削除します。	P.77
プロテクト設定	大切な画像を誤って削除しないように、プロテクト（保護）します。	P.77
転送マーク設定	撮影済みの画像に、パソコンに転送するための転送マークを付けます。	P.77
スモールピクチャー	撮影した画像から、サイズの小さい画像を新しく作ります。	P.78
画像コピー	内蔵メモリーと SD カードの間で画像をコピーします。	P.79

プリント指定

画像を DPOF（P.95）対応プリンターなどでプリントするための設定を、あらかじめカメラで行うことができます。詳しくは P.55 をご覧ください。

いろいろな設定—再生メニュー

スライドショー

内蔵メモリー／SD カードに記録されている画像を、1 コマずつ順番に自動的に連続再生します。約 3 秒間隔で、撮影した順番に再生します。

「開始」を選ぶ

繰り返し再生するには、「**開始**」を選ぶ前に「**エンドレス**」を選んで OK を押し、□ を ☑ にしてください。

2

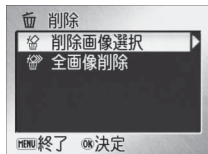
スライドショーが始まる

- スライドショーの再生中は、
  - ・マルチセレクターの右を押すと次の画像が、左を押すと前の画像が表示されます（押し続けると早送り／早戻しになります）。
  - ・OK を押すと一時停止します。
- スライドショー終了時や一時停止時には、左のように表示されます。「**終了**」を選ぶと再生メニューに戻り、「**再開**」を選ぶとスライドショーが再開されます。

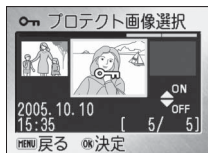
☑ スライドショーについてのご注意

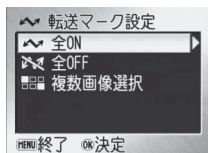
- 動画（P.44）は 1 フレーム目だけが表示されます。
- 「**エンドレス**」で再生していても、何も操作しないで約 30 分経過すると、待機状態（P.65）に入り、液晶モニターが消灯します。何も操作しないまま、さらに約 3 分経過すると、電源が OFF になります。

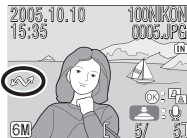
削除

画像を削除します。ただし、O┳ マークが表示されている画像は、プロテクト（保護）が設定されているため、削除できません。

プロテクト設定

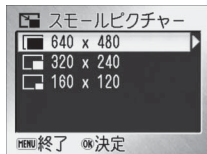
大切な画像を誤って削除してしまうことを防ぐために、画像にプロテクト（保護）を設定することができます。ただし、内蔵メモリー／SDカードを初期化（フォーマット、P.66）すると、プロテクトを設定した画像も削除されるので、ご注意ください。

プロテクト設定した画像には、再生時に O┳ マークが表示されます。

転送マーク設定

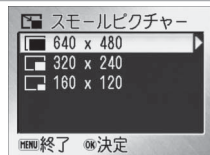
撮影した画像に、転送マーク（P.48）を付けたり外したりできます。

全 ON	すべての撮影済み画像に転送マークを付けます。
全 OFF	すべての撮影済み画像から転送マークを外します。
複数画像選択	画像選択画面（P.59）で、転送マークを付ける画像を選びます。

転送マークを付けた画像には、再生時に マークが表示されます。

スモールピクチャー

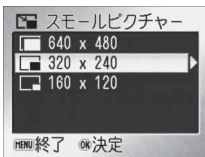
撮影した画像から、サイズの小さい画像を新しく作ります。作成するスモールピクチャーの大きさは以下の3種類から選べます。

640 × 480	テレビでの表示に適しています。
320 × 240	ホームページでの使用に適しています。
160 × 120	電子メールへの添付に適しています。

1

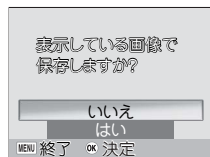
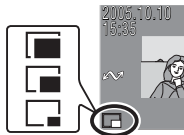
1 コマ再生モード (P.38) で、スモールピクチャーを作成したい画像を表示する

2

スモールピクチャーのメニューを表示する

3

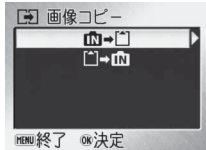
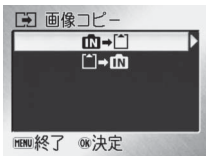
作成するスモールピクチャーのサイズを選ぶ

4

確認画面が表示される

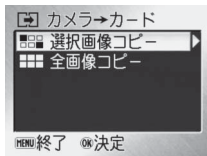
「**はい**」を選んで OK を押すと、スモールピクチャーが作成されます。

- スモールピクチャーは、元画像とは別の画像（圧縮率約 1/16）として保存されます。
- スモールピクチャーには、再生時にグレーの枠が表示されます。1 コマ再生モード時は、画像サイズを示すマーク（ 、 、 ）も表示されます。

スモールピクチャーのファイル名：P.94
元画像とスモールピクチャーの関係：P.94

いろいろな設定—再生メニュー

画像コピー

内蔵メモリーから SD カードに、または SD カードから内蔵メモリーに、画像をコピーすることができます。

コピーの方向※を選んで Ⓚ を押す

※ 内蔵メモリー→SDカード：内蔵メモリーから SD カードへ
SDカード→内蔵メモリー：SD カードから内蔵メモリーへ

2

コピーの方法を選ぶ

「**選択画像コピー**」→ステップ 3 へ
「**全画像コピー**」→ステップ 5 へ

3

画像選択画面 (P.59) に移る

4

コピーしたい画像を指定する

マルチセレクターの左右で画像を選び、上下で設定の ON/OFF を切り換えます。詳しい操作方法については P.59 をご覧ください。

5

確認画面が表示される

「**はい**」を選んで Ⓚ を押すと、画像がコピーされます。

画像コピーについてのご注意

他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像に対しては、画像コピー機能の動作は保証しておりません。

コピー画像のファイル名とフォルダ名：P.94
元画像とコピー画像の関係：P.94

動画に関する設定—動画メニュー

メニューの表示方法や操作方法については、P.57をご覧ください。

動画設定

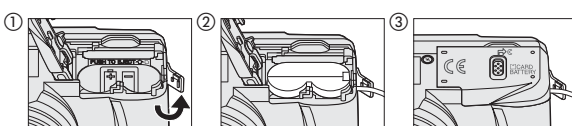
撮影する動画のサイズを以下の３種類から選べます。

	サイズ（ピクセル）	フレーム数／秒
TV **TV 再生 640**	640 × 480	15
カメラ再生 320 ★	320 × 240	30
LP **長時間再生 160 ★**	160 × 120	30

AF-MODE

ピント合わせについて設定します。

S-AF シングル AF	シャッターボタンを半押しするとピント合わせを行い、撮影中はそのピントで固定されます。
C-AF 常時 AF	撮影中も常にカメラがピントを合わせ続けます。

初期設定の「**常時 AF**」では、カメラの動作音が録音される場合があります。動作音が気になるときは「**シングル AF**」で撮影してください。

１枚の SD カードで動画を記録できる時間：P.93
動画メニューの初期設定：P.91

別売アクセサリー

詳しくは販売店にお問い合わせください。

充電式バッテリー	Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH1-B2
充電器	バッテリーチャージャー MH-71
AC アダプター	AC アダプターキット EH-62B < EH-62B の取り付け方> ① ② ③

推奨 SD カード一覧

SanDisk 製	64MB、128MB、256MB、256MB※、512MB、512MB※、1GB
東芝製	64MB、128MB、128MB※、256MB、256MB※、512MB
Panasonic 製	64MB、128MB、256MB※、512MB※、1GB※

※　10MB/s の高速タイプ

SD カードの取り扱い上のご注意

- SD カード以外のメモリーカードはお使いいただけません。
- 必ず COOLPIX L1 で「**標準初期化**」(P.66) をしてからお使いください。
- 初期化中や画像の記録・削除中、パソコンとの通信時などには、
  ・カードの着脱をしないでください　・カメラの電源を OFF にしないでください
  ・バッテリーを取り出さないでください　・AC アダプターを外さないでください
  記録されているデータの破損やカードの故障の原因となります。
- 分解や改造をしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 端子部を手や金属で触らないでください。
- ラベルやシールを貼らないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たるところなどには置かないでください。
- 湿度の高いところやほこりが多いところ、腐食性のガスなどが発生するところには置かないでください。

カメラのお手入れ方法

クリーニングについて

レンズ	レンズのガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないように注意してください。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布などでガラス部分の中央から外側にゆっくりと円を描くように拭き取ってください。汚れが取れない場合は、乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。硬いもので拭くと傷が付くことがありますので注意してください。
液晶モニター	ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やセーム革などで軽く拭き取ってください。強く拭くと破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。
カメラ本体	ゴミやホコリをブロアーで吹き払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。 ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因となります。この場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。

保管について

長期間カメラをお使いにならないときは、電池を取り出してください。電池を取り出す前に、電源が OFF になっていることをご確認ください。

次の場所にカメラを保管しないようにご注意ください：

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が 50℃以上、または－ 10℃以下の場所
- 湿度が 60% を超える場所

取り扱い上のご注意

カメラについて

●強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズやレンズバリアーに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

●水に濡らさないでください

カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

●急激な温度変化を与えないでください

極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。カメラをバックやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

●強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しない場合があります。

●長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は CCD の褪色・焼きつきを起こす恐れがあります。また、その際撮影された画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

●保管する際には

カメラを長期間お使いにならないときは、必ず電池を取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、月に一度を目安に電池を入れ、カメラを操作することをおすすめします。

●電池や AC アダプターを取り外すときは必ず電源を OFF にしてください

電源が ON の状態で、電池や AC アダプターを取り外すと、故障の原因となります。特に撮影動作中、または記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

●液晶モニターについて

- 液晶モニターの特性上、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。記録される画像には影響はありません。
- 屋外では日差しの加減で液晶モニターが見えにくい場合があります。
- 液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因になります。もしホコリやゴミ等が付着した場合は、ブロアーブラシで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、液晶モニターが破損した場合、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますので充分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。

●スミアについて

明るい被写体を写すと、液晶モニター画像に縦に尾を引いたような（上下が帯状に白く明るくなる）現象が発生することがあります。この現象をスミア現象といい、故障ではありません。撮影された画像（動画を除く）には影響はありません。

電池について

●充電池は、撮影前に充電する

別売のリチャージャブルバッテリーEN-MH1-B2をお使いの際は、撮影前に充電してください。ご購入時にはフル充電されていないので、ご注意ください。

●使用上の注意

- 長時間お使いになった電池は、発熱していることがあるので、ご注意ください。
- 電池を取り出すときは、カメラの電源をOFFにして、電源ランプが消灯していることをご確認ください。
- 使用推奨期限の過ぎた電池はお使いにならないでください。
- 残量の無くなった電池をカメラに入れたまま、何度も電源のON/OFFを繰り返さないでください。

●予備電池を用意する

撮影の際は予備の電池をご用意ください。特に海外では、地域によって電池の入手が困難な場合があるので、ご注意ください。

●低温時の電池について

電池の一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温時にお使いになる場合は、電池やカメラを冷やさないようにしてください。

●低温時には残量が充分な電池を使い、予備の電池を用意する

低温時に消耗した電池をお使いになると、カメラが作動しない場合があります。低温時に撮影する場合は、新しい電池かフル充電した充電池を使い、保温した予備の電池を用意して温めながら交互にお使いください。低温下では一時的に性能が低下して使えなかった電池でも、常温に戻ると使える場合があります。

●電池の接点について

電池の接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなる場合があります。電池を入れる前に接点を乾いた布などで拭いてください。

●電池の残量について

電池の特性上、残量のなくなった電池をカメラに入れると、電池の残量が充分にある状態を示す（電池残量表示が表示されない）ことがありますので、ご注意ください。

●ニッケル水素電池について

- ニッケル水素電池は、残量がある状態で繰り返し充電すると、メモリー効果（一時的に電池容量が低下したような特性を示す現象）によって、電池残量表示が早めに表示されることがあります。最後まで使い切ってから充電すると、正常に戻ります。
- ニッケル水素電池は、お使いにならないときでも自然放電によって残量が減っていきます。お使いになる直前に充電することをおすすめします。

●リチャージャブルバッテリーEN-MH1-B2の充電について

EN-MH1-B2は、専用バッテリーチャージャーMH-71で2本同時に充電してください。2組以上のEN-MH1-B2をお使いの場合は、残量の異なるバッテリーが混在しないようにしてください。

●リチャージャブルバッテリーEN-MH1-B2のリサイクルについて

充電を繰り返して劣化し使用できなくなったバッテリーは、再利用しますので廃棄しないでリサイクルにご協力ください。端子部にテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービスセンターやリサイクル協力店へご持参ください。

Ni-MH

付録

警告メッセージ

画面に表示される警告メッセージの意味は、以下の通りです。

表示	意味	対処法	
(点滅)	カメラの時計が設定されていません。	日付と時刻を設定する。	16
	電池残量が少なくなりました。	電池交換の準備をする。	—
電池残量がありません	電池残量がありません。	電池を交換する。	14 67
AF● (赤色点滅)	ピントを合わせることができません。	・ピントを合わせ直す。 ・フォーカスロック撮影を行う。	22 74
(点滅)	シャッタースピードが遅くなるため、手ブレのおそれがあります。	・フラッシュを使う。 ・三脚を使う。 ・安定した場所におく。 ・体にひじを付けて、両手でしっかりとカメラを固定する。	24 11 — 21
記録中 しばらくお待ちください	画像の記録中です。	記録が終了して警告表示が消灯するまでお待ちください。	—
カードがロック されています	SD カードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。	「Lock」を解除する。	19
このカードは使用 できません	SD カードへのアクセス異常です。	・動作確認済みのカードを使う。 ・カードの端子部分が汚れていないか確認する。 ・カードが正しく挿入されているか確認する。	81 18 18
カードに異常があります			
初期化されていません 初期化する いいえ	SD カードが、COOLPIX L1 用に初期化されていません。	「**初期化する**」を選んで OK を押し、SD カードを初期化する。	19
メモリー残量が ありません IN／	データを記録する空き容量がありません。	・画像モードを変更する。 ・不要な画像を削除する。 ・SD カードを交換する。 ・SD カードをカメラから取り出し、内蔵メモリーを使う。	28、69 39、77 18 18

付録

表示	意味	対処法	👁
画像を保存できません	画像記録中にエラーが発生しました。	内蔵メモリー／ SD カードを初期化する。	66
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。	・SD カードを交換する。 ・内蔵メモリー／ SD カードを初期化する。	18 66
	編集できない画像を編集しようとしました。	トリミングや D- ライティング、スモールピクチャーが可能な条件をご確認ください。	94
	オープニング画面に登録できない画像です。	スモールピクチャーやトリミングで作成した画像で、画像サイズが 320 × 240 以下のものは、登録できません。	—
	画像コピー先の容量不足です。	コピー先の不要な画像を削除する。	77
動画記録できません	SD カードに動画を記録するのに時間がかかっています。	画像記録処理の速い SD カードに交換する。	81
撮影画像がありません	撮影済みの画像がありません。	—	—
このファイルは表示できません	パソコンや他社のカメラで作成されたファイルです。	このカメラでは再生できません。	—
表示可能な画像がありません	オープニング画面に登録できる画像がありません。	—	—
	スライドショーで表示できる画像がありません。	—	—
このファイルは削除できません	画像にプロテクトがかかっています。	プロテクトを解除する。	77
自宅と訪問先が同じタイムゾーンです	自宅と訪問先を同じタイムゾーンに設定しました。	—	61
レンズエラー	レンズの作動不良です。	電源を入れ直してください。エラー表示が続く場合は、ニコンサービスセンターまでご連絡ください。	20

表示	意味	対処法	
通信エラー	パソコンやプリンターとの通信中に、USB ケーブルが外れました。	パソコンに警告メッセージが表示された場合、[OK] をクリックして PictureProject を終了してください。カメラの電源を OFF にしてケーブルを再接続してから、もう一度転送してください。	47
	お使いのパソコンの OS とカメラの USB 通信方式の組み合わせでは、転送できません。	セットアップメニューの「**インターフェース**」→「**USB**」の設定を確認する。	49
	PictureProject が起動していません。	—	—
転送マーキングされた画像がありません	転送マーク設定された画像がないのに、パソコンに画像を転送しようとしました。	転送マークを設定してから転送する。	48 77
転送エラー	画像転送中にエラーが発生しました。	カメラとパソコンの接続状況や電池残量を確認する。	20 47
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。	電源を OFF にして電池を入れ直し、もう一度電源を ON にしてください。エラー表示が続く場合は、ニコンサービスセンターまでご連絡ください。	20
プリンターエラー プリンターを確認 してください	プリンターに異常があります。	用紙切れなどエラーの原因を取り除いた後、「**継続**」を選んで OK を押すと、プリントが再開されます（エラー内容によっては、「**継続**」を選べない場合があります）。	—

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービスセンターにお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

表示・設定・電源関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	👁
液晶モニターに何も映らない	・電源が入っていない。 ・電池残量が無い。 ・待機状態になっている。→ シャッターボタンを半押しする ・フラッシュランプが点滅している。→ フラッシュの充電中です。充電が完了するまでお待ちください。 ・カメラとパソコンが USB ケーブルで接続されている。 ・AV ケーブルが接続されている。	20 20 21、65 24 47 46
液晶モニターがよく見えない	・液晶モニターの明るさを調整する。 ・液晶モニターが汚れている。	62 82
カメラの電源が突然切れる	・電池残量がない。 ・低温下ではカメラや電池が正常に動作しない場合があります。	20 84
SD カードの「**標準初期化**」ができない	電池残量が不足している。	20 66
撮影日時が正しく表示されない	・セットアップメニュー「**日時設定**」が正しく設定されていない（日時設定を行っていない場合（撮影時に時計マークが点滅している場合）は、撮影日時は「0000.00.00　00:00（静止画）」、「2005.01.01 00:00（動画）」と記録されます）。 ・内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くないので、定期的に日時設定を行うことをおすすめします。	16 61
撮影情報や画像情報が表示されない	セットアップメニュー「**モニター設定**」の「**モニター表示設定**」が「**情報 OFF**」になっている。	62
「**デート写し込み**」が選べない	セットアップメニュー「**日時設定**」が設定されていない。	16 61
「**デート写し込み**」を有効にしたのに、日付が印字されない	以下の場合、日付は印字されません。 ・シーンモードの「パノラマアシスト」で撮影した画像 ・動画	 36 37
設定内容が初期状態に戻ってしまった	バックアップ電池が切れたため、設定がリセットされました。	61

●デジタルカメラの特性について
きわめて希に、液晶モニターに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。このような場合は、電源を OFF にして電池を入れ直し、もう一度電源を ON にしてみてください。これによってカメラが作動しなくなったときのデータは失われるおそれがありますが、すでに内蔵メモリーまたは SD カードに記録されているデータは失われません。この操作を行ってもカメラに不具合が続く場合は、ニコンサービスセンターにお問い合わせください。

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	参照ページ
撮影できない	・再生モードになっている。→ ▶ を押す ・メニューが表示されている。→ MENU を押す ・電池残量が無い。 ・フラッシュランプが点滅している。→ フラッシュの充電中	38 57 20 24
ピントが合わない	・ピントが合いにくい被写体（明暗差がはっきりしない／遠くのものと近くのものが混在する／連続した繰り返しパターン／極端な輝度差がある／背景に対してメインの被写体が小さい／絵柄が細かい）を撮影している。→ フォーカスロックを利用して撮影する ・電源を入れ直す。	74 20
画像がぶれる	・フラッシュを使う。 ・BSS（ベストショットセレクター）を使う。 ・三脚などでカメラを安定させる（セルフタイマーを併用すると、より効果的です）。	24 73 11、26
手ブレお知らせ画面が表示されない	セルフタイマー撮影時、シーンモードの（スポーツ）、（ミュージアム）、（打ち上げ花火）、（パノラマアシスト）のとき、撮影メニューの「**連写**」モードが「**連写**」か「**マルチ連写**」、または「**BSS**」が「**ON**」のときは、表示されません。	26 28 72 73
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいる。→ フラッシュモードを（発光禁止）にする	24
フラッシュが発光しない	・フラッシュモードが 発光禁止になっている。 ・フラッシュが発光しないシーンモードになっている。 ・ モードになっている。 ・撮影メニュー「**連写**」モードが「**連写**」か「**マルチ連写**」、または「**BSS**」が「**ON**」になっている。	24 92 37 72、73
光学ズームが使えない	動画撮影中は使えません。	37
電子ズームが使えない	アシスト機能付きシーンモード、動画モード、撮影メニュー「**連写**」モードが「**マルチ連写**」のときは、電子ズームは使えません。	28 37 72
「**画像モード**」が選べない	撮影メニュー「**連写**」モードが「**マルチ連写**」のとき、シーンモード（スポーツ）の「**スポーツマルチ連写**」のときは、設定できません。	32 72
「**測光方式**」が選べない	電子ズーム使用中は設定できません。	21
シャッター音が鳴らない	セットアップメニュー「**操作音**」→「**シャッター音**」が「**OFF**」になっている。	65
画像が鮮明でない	レンズが汚れている。	82
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスが選ばれていない。	70

こんなときは	考えられる原因や対処法	👁
画像がザラつく	・被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO 感度が高くなっている。 → フラッシュを使う → ノイズ除去機能付きのシーンモードで撮影する	 24 30 ～ 35
画像が暗すぎる	・フラッシュモードが ⓕ（発光禁止）になっている。 ・フラッシュが指などでさえぎられている。 ・被写体にフラッシュの光が届いていない。 ・露出補正値が低すぎる。 ・逆光で撮影している → シーンモードの「**逆光**」にするか、フラッシュモードを ⚡（強制発光）にする	24 21 24 27 24、35
画像が明るすぎる	露出補正値が高すぎる。	27

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	👁
再生できない	パソコンか他社製のカメラによって画像が上書きされたか、名前が変更された。	—
画像の拡大表示ができない	動画やスモールピクチャー、320 × 240 以下にトリミングされた画像は拡大表示できません。	—
音声メモを録音できない	動画には音声メモを付けられません。	44
トリミング、D-ライティング、スモールピクチャーの作成ができない	・動画は編集できません。 ・トリミングや D- ライティング、スモールピクチャーが可能な条件をご確認ください。 ・COOLPIX L1 以外のカメラで撮影した画像に対するこれらの操作については、動作を保証しておりません。また、COOLPIX L1 で作成したこれらの画像を、COOLPIX L1 以外のカメラで再生した場合についても動作を保証しておりません。	44 94 —
画像がテレビに映らない	セットアップメニュー「**インターフェース**」の「**ビデオ出力**」が正しく設定されていない。	66
カメラをパソコンに接続しても、PictureProject が自動起動しない	・カメラの電源が OFF になっている。 ・電池残量が無い。 ・USB ケーブルが正しく接続されていない。 ・セットアップメニュー「**インターフェース**」→「**USB**」が正しく設定されていない。 ・パソコンにカメラが正しく認識されていない。 PictureProject については、付属の PictureProject ソフトウェア使用説明書（CD-ROM）をご参照ください。	20 20 47 49 —
転送マークを付けられない	1000 コマ以上に転送マークを付けることはできません。PictureProject の［転送］ボタンで転送してください。	48
転送マークを付けたのに、認識されない	COOLPIX L1 以外のカメラで転送設定した画像です。もう一度 COOLPIX L1 で転送設定を行ってください。	48 77

付録

資料集

初期設定一覧 (P.60、68、80)

セットアップメニューの「**設定クリアー**」(P.67) で初期設定に戻る項目は、以下の通りです。

モードの撮影機能

フラッシュモード (P.24)	オート
マクロモード (P.25)	OFF
セルフタイマー (P.26)	OFF
露出補正 (P.27)	0.0

セットアップメニュー

オープニング画面 (P.61)	アニメーション
モニター表示設定 (P.62)	情報 ON
画面の明るさ (P.62)	3
デート写し込み (P.63)	OFF
設定音 (P.65)	ON
シャッター音 (P.65)	標準
オープニング音 (P.65)	標準
手ブレお知らせ (P.65)	ON
オートパワーオフ (P.65)	1 分
スリープモード (P.65)	OFF
転送設定 (P.66)	ON
メニュー切り換え (P.67)	文字タイプ

シーンモード

シーンモード (P.28)	ポートレート
ポートレートモード (P.30)	顔認識
風景モード (P.30)	風景
スポーツモード (P.32)	スポーツ
夜景ポートレートモード (P.32)	夜景ポートレート

撮影メニュー

画像モード (P.69)	標準 (2816)
ホワイトバランス (P.70)	オート
測光方式 (P.72)	マルチパターン
連写 (P.72)	単写
BSS (P.73)	OFF
ピクチャーカラー (P.73)	標準カラー
AF エリア選択 (P.74)	オート
AF-MODE (P.74)	シングル AF

動画メニュー

動画設定 (P.80)	カメラ再生 320★
AF-MODE (P.80)	常時 AF

ダイレクトプリント関連

用紙設定 (P.53、54)	プリンターの設定

- 「**設定クリアー**」を行うと、ファイル番号の連番 (P.94) もクリアーされます。クリアー後に撮影した画像には、内蔵メモリー／ SD カード内の最大ファイル番号の次の番号から連番が付けられます。ファイル名の連番を 0001 に戻したいときは、内蔵メモリー／ SD カード内の画像をすべて削除 (P.77) してから、「**設定クリアー**」を行ってください。
- 以下の項目 (いずれもセットアップメニュー) は、「**設定クリアー**」を行っても初期設定には戻りません。
  - ・「**日時設定**」(P.61)、「**誕生日カウンター**」の登録日 (P.64)、「**言語**」(P.66)、「**インターフェース**」(P.66) の「**USB**」と「**ビデオ出力**」、「**電池設定**」(P.67)

シーンモードの設定内容（P.28）

各シーンモードの初期設定と、設定を変更できる機能についてまとめました。[　] で囲んだ項目は、設定を変更できません。いずれの項目も、電源を OFF にするか、モードセレクターを切り換えるか、再生モードに入るか、セットアップメニューの「**設定クリアー**」を行うことで、初期設定に戻ります。

	フラッシュモード（P.24）	マクロモード（P.25）	セルフタイマー（P.26）	露出補正（P.27）
ポートレート	⚡◉	[OFF]	OFF	0.0
風景	[⊘]／⚡AUTO ※	[OFF]	OFF	0.0
スポーツ	[⊘]	[OFF]	[OFF]	0.0
夜景ポートレート	[⚡◉]	[OFF]	OFF	0.0
パーティー	⚡◉	[OFF]	OFF	0.0
海・雪	⚡AUTO	OFF	OFF	0.0
夕焼け	[⊘]	[OFF]	OFF	0.0
トワイライト	[⊘]	[OFF]	OFF	0.0
夜景	[⊘]	[OFF]	OFF	0.0
クローズアップ	⊘	[ON]	OFF	0.0
ミュージアム	[⊘]	OFF	OFF	0.0
打ち上げ花火	[⊘]	[OFF]	[OFF]	[0.0]
モノクロコピー	⊘	OFF	OFF	0.0
逆光	[⚡]	[OFF]	OFF	0.0
パノラマアシスト	⊘	OFF	OFF	0.0

※「**風景**」「**山**」「**建物**」では ⊘ に固定されます。「**左背景**」「**右背景**」では初期設定が ⚡AUTO で、変更も可能です。

画像モードと記録可能コマ数（P.20、69）

それぞれの画像モードで、内蔵メモリーや 256MB の SD カードに記録できるおおよそのコマ数は以下のとおりです。ただし、JPEG 圧縮の性質上、画像の絵柄によって記録可能コマ数は大きく異なります。同じ容量の SD カードでも、カードの種類によって、記録可能コマ数が異なる場合があります。

付録

画像モード	内蔵メモリー（約 10MB）	SD カード（256MB）	プリント時の大きさ（出力解像度 300dpi の場合）
6M★ 高画質（2816★）	3 コマ	約 80 コマ	約 24 × 18cm
6M 標準（2816）	6 コマ	約 160 コマ	約 24 × 18cm
3M エコノミー（2048）	12 コマ	約 300 コマ	約 17 × 13cm
PC パソコン（1024）	43 コマ	約 1030 コマ	約 9 × 7cm
TV TV（640）	90 コマ	約 2220 コマ	約 5 × 4cm

※ 記録可能コマ数が 10000 コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。

動画設定と記録可能時間 (P.37、80)

それぞれの動画設定で、内蔵メモリー（約 10MB）や 256MB の SD カードに記録できるおおよその撮影時間は以下のとおりです。SD カードの種類や撮影条件によって、数値は増減することがあります。

動画設定	内蔵メモリー（約 10MB）	SD カード（256MB）
TV 再生 640	14 秒	約 5 分 40 秒
カメラ再生 320 ★	16 秒	約 6 分 30 秒
長時間再生 160 ★	1 分 2 秒	約 25 分

同時に設定できる機能の制限 (P.68)

モードでは、以下のように、複数の機能を同時に設定できない場合があります。

フラッシュモード	「**連写**」モードを「**連写**」または「**マルチ連写**」にするか、「**BSS**」を「**ON**」にすると、フラッシュモードは に固定されます。 「**連写**」モードを「**単写**」に戻す、または「**BSS**」を「**OFF**」に戻すと、元のフラッシュモードに戻ります。
セルフタイマー	セルフタイマーを ON にすると、 ・「**連写**」モードは設定に関わらず、「**単写**」として動作します。 ・「**BSS**」は設定に関わらず、「**OFF**」として動作します。 セルフタイマーを OFF にする（またはセルフタイマー撮影が完了する）と、「**連写**」モードまたは「**BSS**」の設定が有効になります。
連写	「**連写**」モードを「**連写**」または「**マルチ連写**」にすると、「**BSS**」は「**OFF**」に変更されます。 「**連写**」モードを「**単写**」に戻しても、「**BSS**」は「**OFF**」のままです。
BSS	「**BSS**」を「**ON**」にすると、「**連写**」モードは「**単写**」に変更されます。 「**BSS**」を「**OFF**」に戻しても、「**連写**」モードは「**単写**」のままです。
ホワイトバランス	「**ピクチャーカラー**」を「**白黒**」「**セピア**」「**クール**」のいずれかにすると、「**ホワイトバランス**」は「**オート**」に固定されます。 「**ピクチャーカラー**」を「**標準カラー**」または「**ビビッドカラー**」に戻すと、元の「**ホワイトバランス**」の設定に戻ります。

ファイル名とフォルダー名

このカメラで撮影した静止画や動画、音声メモには、以下のようなファイル名が付けられます。

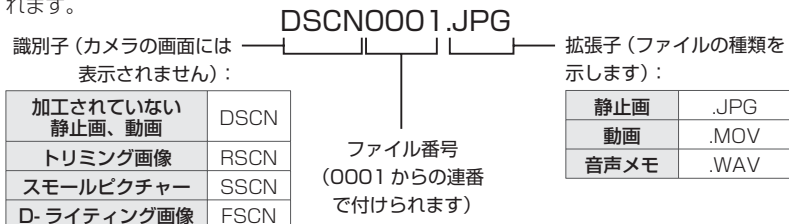
DSCN0001.JPG

識別子（カメラの画面には表示されません）：

加工されていない静止画、動画	DSCN
トリミング画像	RSCN
スモールピクチャー	SSCN
D- ライティング画像	FSCN

ファイル番号（0001 からの連番で付けられます）

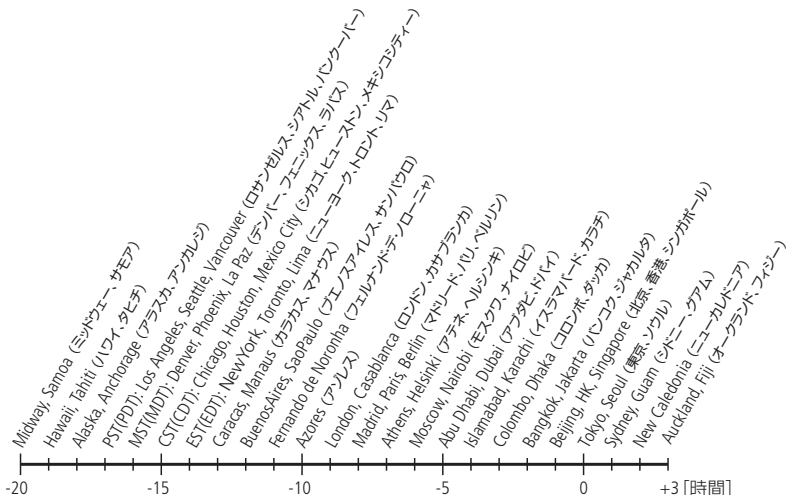
拡張子（ファイルの種類を示します）：

静止画	.JPG
動画	.MOV
音声メモ	.WAV

- ファイルが保存されるフォルダーは、「3 桁のフォルダー番号＋ NIKON」（例：100NIKON）という名前で、自動的に作られます。フォルダー内のファイル数が 200 に達すると、新しいフォルダーが作られます（例：100NIKON → 101NIKON）。フォルダー内のファイル番号が 9999 に達した場合も新しいフォルダーが作られ、ファイル番号は 0001 に戻ります。
- パノラマアシストモード (P.36) では、撮影のたびに「3 桁のフォルダー番号＋ P_XXX」という名前のフォルダー（例：101P_001）が作られ、ファイル番号 0001 から始まる一連の画像が保存されます。
- データを内蔵メモリーと SD カードの間でコピーする場合 (P.79)、ファイル名は次のようになります。
  - ・「**選択画像コピー**」：使用中のフォルダー（または次回の撮影で使われるフォルダー）に、データがコピーされます。コピーされたデータのファイル名は、「内蔵メモリーおよび SD カード内の最大ファイル番号＋ 1」からの連番で付けられます。
  - ・「**全画像コピー**」：データはフォルダーごとにコピーされます。フォルダー名は「コピー先の最大フォルダー番号＋ 1」から連番で付けられます。ファイル名は変わりません。
- フォルダー番号が 999 のときにファイル数が 200 個またはファイル番号が 9999 に達した場合は、それ以上撮影できません。SD カードを交換するか、内蔵メモリー／SD カードを初期化 (P.66) してください。

画像編集の制限、元画像と編集画像の関係について

- 画像編集（トリミング：P.41、D- ライティング：P.42、スモールピクチャー：P.78）には、以下のような制限があります。
  - ・トリミングやスモールピクチャーで作成された画像に対して、再度トリミングを行うことやスモールピクチャーを作成することはできません。
  - ・D- ライティングで作成された画像に対して、再度 D- ライティングを行うことはできません。
- 画像編集によって作成された画像は、元画像から転送マークの設定だけを引き継ぎ、プリント指定とプロテクト設定は引き継ぎません。
- 画像コピー（P.79）でコピーした画像は、元画像のプロテクト設定だけを引き継ぎます。

タイムゾーンについて（P.16、61）

タイムゾーンと時差の関係は以下の通りです。1 時間未満の単位の時差がある場合は、「**日時設定**」で正確な時刻に合わせてください。

このカメラの準拠規格

- Design rule for Camera File system（DCF）：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。
- DPOF (Digital Print Order Format)：デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- Exif (Exchangeable image file format) Version 2.2：デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報をいかして最適なプリント出力を得ることができます。詳しくはプリンターの使用説明書をご参照ください。
- PictBridge：デジタルカメラとプリンターのメーカー各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずプリンターで直接プリントするための標準規格です。

主な仕様

ニコン デジタルカメラ COOLPIX L1

項目	仕様
型式	コンパクトデジタルカメラ
有効画素数	6.2 メガピクセル
撮像素子	1/2.5 型原色 CCD、総画素数 6.37 メガピクセル
画像モード	· 2816 × 2112［高画質（2816 ★）／標準（2816）］ · 2048 × 1536［エコノミー（2048）］ · 1024 × 768［パソコン（1024）］ · 640 × 480［TV（640）］
レンズ	光学 5 倍ズームニッコールレンズ
焦点距離	f=6.3 ～ 31.4mm（35mm 判換算 38 ～ 190mm）
絞り	F2.9 ～ F5.0
レンズ構成	7 群 9 枚
電子ズーム	最大 4 倍（35mm 判換算で約 760mm 相当）
オートフォーカス	コントラスト検出方式
撮影距離	· レンズ前約 50cm ～∞ · マクロモード時は約 4cm［ズームの広角側］～∞
AF エリア	中央、オート（5 点）
液晶モニター	2.5 型 TFT 液晶、115,000 画素、輝度調節機能付き（5 段階）
視野率（撮影時）	上下左右とも約 98%（対実画面）
視野率（再生時）	上下左右とも約 100%（対実画面）
記録形式	
記録媒体	内蔵メモリー（約 10MB）、SD メモリーカード
画像ファイル	DCF、Exif 2.2、DPOF 準拠
ファイル形式	圧縮：JPEG-Baseline 準拠 動画：QuickTime 音声：WAV
露出	
測光方式	マルチパターン測光、中央部重点測光
露出制御	プログラムオート、露出補正（± 2 段の範囲で 1/3 段刻み）可能
露出連動範囲（ISO100 換算）	広角側：EV + 2.5 ～+ 16.0 望遠側：EV + 4.0 ～+ 17.5
シャッター	メカニカルシャッターと CCD 電子シャッターの併用
シャッタースピード	4 ～ 1/2000 秒

項目	内容
絞り	電磁駆動による絞り開口選択方式
制御段数	2（F2.9、F4.9［広角側］）
ISO感度（推奨露光指数）	ISO50 ～ 200 相当で自動切り換え
セルフタイマー	約 10 秒
内蔵フラッシュ	
調光範囲	約 0.5 ～ 3.5m（広角側）、約 0.5 ～ 2.0m（望遠側）
調光方式	自動調光制御
インターフェース	USB
ビデオ出力	NTSC、PAL から選択可能
入出力端子	オーディオビデオ出力／デジタル端子（USB）
言語	ドイツ語、英語、スペイン語、フランス語、イタリア語、オランダ語、ロシア語、スウェーデン語、日本語、簡体字中国語、繁体字中国語、韓国語の 12 言語
電源	・アルカリ乾電池、オキシライド乾電池、リチウム電池のいずれかを各 2 本（いずれも単 3 形） ・リチャージャブルバッテリー EN-MH1-B2（ニッケル水素電池）2 本 ・AC アダプターキット EH-62B
撮影可能コマ数（電池寿命）※	約 100 コマ（アルカリ乾電池使用時）、約 400 コマ（リチウム電池使用時）、約 230 コマ（EN-MH1-B2 使用時）
寸法	約 89.5（W）× 60.5（H）× 47（D）mm（突起部除く）
質量	約 180g（電池、SD カード除く）
動作環境	
温度	0 ～＋ 40℃
湿度	85%以下（結露しないこと）

※ CIPA 規格（電池寿命測定方法を定めたカメラ映像機器工業会の規格）によるものです。測定条件は、25℃、撮影ごとにズーム、2 回に 1 回の割合でフラッシュ撮影、画像モード「標準」です。

- 仕様中のデータは、すべて常温（25℃）、リチャージャブルバッテリー EN-MH1-B2 をフル充電で使用時のものです。

使用説明書について

- 使用説明書の誤りになどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

索引（**太字**はメニュー項目です）

付録

付録

アフターサービスについて

■この製品の操作方法や修理についてのお問い合わせは

この製品の操作方法や修理について、ご質問がございましたら、ニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

- ニコンカスタマーサポートセンターにつきましては、使用説明書裏面をご覧ください。

●お願い

- お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAX または郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」は、コピーしていただくと、繰り返しお使いいただけます。

■修理を依頼される場合は

ご購入店、またはニコンサービスセンターにご依頼ください。

- ニコンサービスセンターにつきましては、「ニコン サービス機関のご案内」をご覧ください。
- ご転居、ご贈答品などでご購入店に修理を依頼することができない場合は最寄りの販売店、またはニコンサービスセンターにご相談ください。
- 修理に出されるときに、SD カードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後 5 年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ご購入店またはニコンサービスセンターへお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービスセンターにお任せください。

■インターネットご利用の方へ

- ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を次の当社 Web サイトでご覧いただくことができます。

  http://www.nikon-image.com/jpn/support/index.htm

- 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター　行
FAX:03-5977-7499

【お問い合わせ承り書】 太枠内のみご記入ください

お問い合わせ日：　　　　年　　月　　日

お買い上げ日：　　　　年　　月　　日

製品名：　　　　シリアル番号：

フリガナ
お名前：

連絡先ご住所：□自宅　□会社
〒

TEL:
FAX:

ご使用のパソコンの機種名：

メモリー容量：　　　　ハードディスクの空き容量：

OS のバージョン：　　　　ご使用のインターフェースカード名：

その他接続している周辺機器名：

ご使用のアプリケーションソフト名：

ご使用の当社ソフトウェアのバージョン名：

問題が発生した時の症状、表示されたメッセージ、症状の発生頻度：
（おわかりになる範囲で結構ですので、できるだけ詳しくお書きください）

※このページはコピーしてお使いください。

整理番号：

製品の使い方と修理に関するお問い合わせ

＜ニコンカスタマーサポートセンター＞

全国共通

☎ 0570-02-8000

市内通話料金でご利用いただけます

営業時間:9:30～18:00（年末年始、夏期休暇等を除く毎日）
携帯電話、PHS等をご使用の場合は、**03-5977-7033** におかけください。
FAXでのご相談は、**03-5977-7499** におかけください。

音声によるご案内に従い、ご利用窓口の番号を入力してください。お問い合わせ窓口の担当者がご質問にお答えいたします。

ニコン宅配修理サービスのご案内

修理品梱包資材のお届けから修理品のお引き取り、修理後の製品のお届けまでのサービスは下記をご利用ください。（有料サービス）

＜ニコン宅配修理サービスお申し込み専用窓口＞

0120 FreeDial **☎ 0120-868-545**

携帯電話やPHS等からのご利用はできません。
営業時間：9:30～17:30（土・日・祝日を除く毎日）年末年始、夏期休暇等、休業する場合があります。

なお、上記フリーダイヤルでは宅配修理サービス関連以外のご案内は行っておりません。

株式会社ニコン
ニコンカメラ販売株式会社

Printed in China
SB5G01(10)
6MA12510-01